

帯広市地域包括支援センター運営協議会 所掌分

【報告事項】

報告事項 1	指定介護予防支援事業等の一部を委託する 居宅介護支援事業所の選定	P1～2
報告事項 2	地域包括支援センター人員体制	P1
報告事項 3	地域包括支援センター実績報告	P1～4
報告事項 4	地域包括支援センターの評価指標を活用した 業務チェックシート報告（国評価）	P1～2
報告事項 5	令和2年度帯広市地域包括支援センター 事業評価について（市独自評価）	P1～76

【協議事項】

協議事項	令和4年度地域包括支援センター事業実施方針（案）	P1～10
------	--------------------------	-------

支援事業所名	法人名	委託契約期間	契約の自動更新	〒	住所1	住所2
1 居宅介護支援事業所 帯広至心寮	社会福祉法人 真宗協会	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0015	帯広市西5条南30丁目19	
2 開西病院在宅ケアセンター	医療法人社団 博愛会	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-2473	帯広市西23条南2丁目16-27	
3 指定居宅介護支援事業所 白樺	医療法人 十勝勤労者医療協会	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0051	帯広市白樺16条西1丁目	
4 指定居宅介護支援事業所 愛仁園	社会福祉法人 晋仁会	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0856	帯広市南町南6線28	
5 ニチイケアセンター帯広東	株式会社ニチイ学館	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0804	帯広市東4条南21丁目4-15	
6 まごころ指定居宅介護支援事業所	株式会社ニチイ学館	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0023	帯広市西13条南13丁目1-48	
7 居宅介護支援事業所 ふるさと	帯広建設勤労者企業組合	平成18年04月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0050	帯広市白樺16条東5丁目10	介護福祉事業センター
8 指定居宅介護支援事業所 木もれび	有限会社ホームケアサポート木もれび	平成18年05月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0047	帯広市西17条北2丁目4-12	
9 帯広徳洲会介護センター	医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院	平成18年07月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0302	音更町木野西通14丁目2-1	
10 あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	社会福祉法人 手稲ロータス会	平成18年08月01日～平成19年03月31日	○	〒080-0309	音更町中鈴蘭元町2-9	
11 ニチイケアセンター帯広	株式会社ニチイ学館	平成18年12月01日～平成19年03月31日	○	〒080-2472	帯広市西22条南3丁目33-1	
12 指定居宅介護支援事業所 太陽	株式会社太陽	平成19年05月01日～平成20年03月31日	○	〒080-0028	帯広市西18条南2丁目9-79	
13 あかりケアプランサービス	特定非営利活動法人グリーンライフサポートとかち	平成19年11月01日～平成20年03月31日	○	〒080-0010	帯広市大通南8丁目5番地1	
14 帯広けいせい苑 居宅介護支援事業所 はるか	社会福祉法人 慧誠会	平成20年04月01日～平成21年03月31日	○	〒080-0028	帯広市西18条南2丁目6-4	
15 居宅介護支援事業所 すみれ	株式会社ニチイ学館	平成21年02月18日～平成22年03月31日	○	〒080-0020	帯広市西10条南31丁目26番地1	
16 ニチイケアセンターみなみの森	株式会社ニチイ学館	平成21年10月01日～平成22年03月31日	○	〒080-0862	帯広市南の森西1丁目5番地9	
17 はるすケアプランサービス	株式会社ハルス	平成22年05月20日～平成23年03月31日	○	〒080-0043	帯広市西13条北2丁目1-5	
18 シグナル帯広居宅介護ステーション	有限会社帯広看護婦家政婦紹介所	平成23年03月01日～平成23年03月31日	○	〒080-0012	帯広市西2条南20丁目10番地	
19 居宅介護支援事業所ゆめいろ	合同会社和興	平成23年10月01日～平成24年03月31日	○	〒080-0050	帯広市白樺16条東19丁目4-1	
20 十勝バス介護サービスセンター	十勝バス株式会社	平成23年10月20日～平成24年03月31日	○	〒080-2463	帯広市西23条北1丁目1-1	
21 ケア・コンシェルジュ シルバーウィング	社会福祉法人 光寿会 シルバーウィング	平成24年07月01日～平成25年03月31日	○	〒080-0027	帯広市西17条南3丁目24-8	
22 ケアマネジメントセンターほえみ	公益財団法人 北海道医療団	平成25年08月01日～平成26年03月31日	○	〒080-0318	音更町緑陽台南区2番6	介護老人保健施設とかち内
23 指定居宅介護支援事業所 向日葵	医療法人社団 刀圭会	平成25年08月01日～平成26年03月31日	○	〒080-0045	帯広市西15条北4丁目2-7	
24 指定居宅介護支援事業所 はなみずき	社会福祉法人 刀圭会	平成25年08月08日～平成26年03月31日	○	〒080-2472	帯広市西22条南1丁目11番17	
25 ケアプランサービス エムズ	営利法人 ケアプランサービス エムズ	平成26年09月01日～平成27年03月31日	○	〒080-0856	帯広市南町南7線29番地15	
26 指定居宅介護支援事業所 ふあーすと	医療法人社団 北斗	平成27年06月01日～平成28年03月31日	○	〒080-0833	帯広市福田町基線2番地1	
27 ケアサポートあつとほーむ	合同会社リアン	平成27年06月01日～平成28年03月31日	○	〒080-0111	音更町木野大通東13丁目1番地43	ルゼルク 101号室
28 居宅介護支援事業所ブルーベリー	合同会社ウェルビーイング	平成27年07月01日～平成28年03月31日	○	〒089-0537	幕別町札内北栄町47番地の4	
29 指定居宅介護支援事業所 凛	合同会社 おひさま	平成27年11月01日～平成28年03月31日	○	〒080-2471	帯広市西21条南5丁目27番地2	
30 指定居宅介護支援事業所 ひだまり	有限会社 サポートひだまり	平成28年04月01日～平成29年03月31日	○	〒080-0028	帯広市西18条南4丁目60番8	
31 居宅介護支援センター 太陽園	社会福祉法人 帯広太陽福祉会	平成28年11月01日～平成29年03月31日	○	〒089-1242	帯広市大正町西1線96番地1	
32 雄武町指定居宅介護支援事業所	雄武町(地方公共団体)	平成28年12月14日～平成29年03月31日	○	〒089-1792	紋別郡雄武町字雄武700番地	
33 ケアプランセンター緑ヶ丘	株式会社ほくと	平成29年11月01日～平成30年03月31日	○	〒080-0019	帯広市西9条南18丁目2番地	
34 さくらの里 居宅介護支援事業所	社会福祉法人 創路創生会	平成30年08月14日～平成31年03月31日	○	〒085-0805	釧路市桜ヶ丘4丁目14-10	
35 ライフマップ 帯広	株式会社ライフデザイン	平成30年12月01日～平成31年03月31日	○	〒080-0017	帯広市西7条南6丁目1-4	
36 ケアプランセンターいけだ	社会福祉法人 池田町社会福祉協議会	令和元年05月01日～令和2年03月31日	○	〒083-0023	池田町字西3条6丁目14番地1	池田町ふれあいセンター内
37 ケアプランセンター帯広中央	社会医療法人 恵和会	令和元年06月01日～令和2年03月31日	○	〒080-0017	帯広市西7条南8丁目1番地3	
38 SOMPOケア帯広南居宅介護支援	SOMPOケア株式会社	令和元年07月01日～令和2年03月31日	○	〒080-0015	帯広市西5条南34丁目29-4	
39 居宅介護支援事業所はなえみ	株式会社オフィス21	令和元年11月01日～令和2年03月31日	○	〒089-0538	幕別町札内共栄町38番地の3	
40 ケアプランセンターあおいとり	合同会社ライフケア ルビータキ	令和2年07月01日～令和3年03月31日	○	〒080-0012	帯広市西2条南21丁目12-1	
41 居宅介護支援 真ごころ	合同会社とくき	令和2年07月13日～令和3年03月31日	○	〒080-0021	帯広市西11条南17丁目2番地7	エスレィ7V
42 指定居宅介護支援事業所春風	合同会社多幸	令和2年08月1日～令和3年03月31日	○	〒080-0135	音更町宝来仲町南2丁目9番地2	ハークサットⅡ H号室
43 ツクイ帯広WOW	株式会社ツクイ	令和2年10月1日～令和3年03月31日	○	〒080-0014	帯広市西4条南29丁目1番8号	WOW西館1階
44 指定居宅介護支援事業所 ビリーブ	特定非営利活動法人 尚之基金	令和2年11月1日～令和3年03月31日	○	〒080-0026	帯広市西16条南6丁目11番9号	
45 士幌町居宅介護支援事業所	士幌町	令和3年1月1日～令和3年03月31日	○	〒080-1219	士幌町字士幌西2線167番地	総合福祉センター内
46 札幌市社会福祉協議会 東相談センター	社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会	令和3年09月3日～令和4年03月31日	○	〒065-0023	札幌市東区北22条東16丁目1-3	
47 居宅介護支援事業所ぬくもり	合同会社イースト	令和3年11月18日～令和4年03月31日	○	〒080-0810	帯広市東10条南12丁目3-3	
48 ツクイ札幌福穂	株式会社ツクイ	令和4年1月13日～令和4年03月31日	○	〒006-0033	札幌市手稲区福穂3条4丁目5-37	

地域包括支援センター 愛仁園

広島市内居宅介護支援事業所一覧 (R3.12)

事業所番号	事業所名	事業所〒	事業所住所1	事業所電話	事業所FAX	申請(開設)者名	特定事業所加算	ケアマネジャー有無
1 0114611932	医療法人社団万圭会指定居宅介護支援事業所向日葵	080-0045	帯広市西15条北4丁目2番地	0155-35-5836	0155-33-5866	医療法人社団 万圭会	Ⅱ	あり
2 0114613078	社会医療法人北斗指定居宅介護支援事業所ふあーすと	080-0833	帯広市稲田町基線2番地1	0155-67-5040	0155-48-4184	社会医療法人 北斗	Ⅱ	あり
3 0114613235	開西病院在宅ケアセンター	080-2473	帯広市西23条南2丁目16番地27	0155-37-9100	0155-37-9110	医療法人社団 博愛会	Ⅱ	あり
4 0154680029	指定居宅介護支援事業所白樺	080-0051	帯広市白樺16条西2丁目7番地	0155-41-1167	0155-41-1162	医療法人 十勝勤労者医療協会	Ⅱ	
5 0164690109	指定居宅介護支援事業所木もれび	080-0047	帯広市西17条北2丁目4番1号	0155-38-2213	0155-38-2214	有限会社ホームケアサポート木もれび	Ⅱ	あり
6 0164690166	指定居宅介護支援事業所くろさわ	080-0010	帯広市大通南1丁目8番地 帯広市デライトプラザビル2階	0155-20-5000	0155-20-5511	社会医療法人 恵和会	Ⅱ	あり
7 0174600015	社会福祉法人帯広市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	080-0847	帯広市公園東町3丁目9番地1	0155-20-2522	0155-21-3240	社会福祉法人 帯広市社会福祉協議会	Ⅱ	あり
8 0174600031	ニチケアセンター帯広	080-0014	帯広市西22条南3丁目33番1	0155-58-1671	0155-58-1675	株式会社ニチイ学館	Ⅲ	あり
9 0174600072	指定居宅介護支援事業所愛仁園	080-0856	帯広市西16条南28丁目2番地1	0155-48-5630	0155-49-3022	社会福祉法人 普仁会	Ⅲ	
10 0174600080	居宅介護支援センター帯広至心寮	080-0014	帯広市西4条南35丁目3番8号	0155-66-7996	0155-48-1019	社会福祉法人 真宗協会	Ⅱ	
11 0174600106	居宅介護支援センター太陽園	089-1242	帯広市大正町西1線9番地1	0155-64-5069	0155-64-5089	社会福祉法人 帯広太陽福祉会	Ⅲ	
12 0174600320	ニチケアセンター帯広東	080-0804	帯広市東1条南21丁目4番15号	0155-20-6830	0155-20-6850	株式会社ニチイ学館	Ⅲ	
13 0174600361	シグナル帯広居宅介護ステーション	080-0012	帯広市西2条南20丁目10番地	0155-23-4935	0155-25-1912	有限会社帯広看護婦家政婦紹介所	Ⅲ	
14 0174600353	居宅介護支援事業所ふれあい	080-0833	帯広市清流西2丁目19番地4	0155-49-4560	0155-49-4566	株式会社 アルムシステム		
15 0174600627	居宅介護支援事業所ニューライフたんぽぽ	080-0802	帯広市東2条南7丁目1番地サンパークビルF	0155-27-4266	0155-26-3786	株式会社 ニューライフ		あり
16 0174600668	あかりケアプランサービス	080-0010	帯広市大通南8丁目1番地5	0155-28-5855		特定非営利活動法人 クリーンライフサポートとから		
17 0174600734	指定居宅介護支援事業所ビリーヴ	080-0026	帯広市西16条南6丁目11番9号	0155-41-0121	0155-41-0124	特定非営利活動法人 尚之基金		
18 0174600924	居宅介護支援事業所くるくる(休止中)	080-0013	帯広市西14条南6丁目2番地1	0155-23-8282	0155-26-6030	株式会社フジライフ		
19 0174601062	十勝バス介護サービスセンター	080-0024	帯広市西14条南32丁目2番13号	0155-67-5885	0155-67-5975	十勝バス 株式会社		
20 0174601070	居宅介護支援事業所太陽	080-0028	帯広市西18条南2丁目9番地79	0155-58-6644	0155-58-6645	株式会社太陽		
21 0174601203	居宅介護支援事業所すみれ	080-2469	帯広市西19条南4丁目19番7号	0155-67-5444	0155-67-1084	株式会社さなはいろ	Ⅲ	
22 0174601229	帯広けいせい苑居宅介護支援事業所はるか	089-1182	帯広市川西町西1線47番地3	0155-53-4800	0155-59-2341	社会福祉法人 慧誠会	Ⅱ	
23 0174601260	ジャパンケア帯広南	080-0015	帯広市西5条南34丁目29番地4	0155-49-3490	0155-49-3876	株式会社ジャパニーズケアサービス		
24 0174602300	はるすケアプランサービス	080-0042	帯広市西12条北2丁目3番15号	0155-41-3328	0155-67-8812	株式会社はるす		
25 0174601351	指定居宅介護支援事業所ひだまり	080-0028	帯広市西12条南4丁目60番5号	0155-58-3022	0155-58-3033	有限会社サポートひだまり		
26 0174601377	ニチケアセンターみなみの森	080-0882	帯広市南の森西1丁目5番地9	0155-49-0004	0155-47-0590	株式会社ニチイ学館		
27 0174601401	アースサポート帯広	080-0807	帯広市東1条南14丁目1番地13	0155-26-0900	0155-26-0901	アースサポート株式会社		
28 0174601468	ツクイ帯広西	080-0011	帯広市西17条南16丁目19番地	0155-20-3200	0155-20-3201	株式会社 ツクイ		
29 0174601500	ケア・コンシェルジュ シルバーヴィンダ	080-0027	帯広市西17条南3丁目24番地24	0155-38-2251	0155-36-8005	社会福祉法人 光寿会	Ⅱ	
30 0174601625	居宅介護支援事業所ゆめいろ	080-0021	帯広市西11条南5丁目1番地8	0155-67-7762	0155-67-7763	合同会社和興		
31 0174601674	指定居宅介護支援事業所はなみずき	080-2472	帯広市西22条南1丁目11番17	0155-67-5401	0155-67-5402	社会福祉法人 刀圭会		
32 0174601757	居宅介護支援事業所ふさと	080-0050	帯広市白樺16条東5丁目10番地	0155-41-1139	0155-35-8950	社会福祉法人 ふさと		
33 0174601823	ケアプランサービスエムズ	080-0857	帯広市南町南7線29番地15 ユー・エス・ヒロ 102号	0155-67-0738	0155-67-0758	株式会社 M's		
34 0174602078	かさまつケアオフィス(休止中)	080-0046	帯広市西16条北1丁目15番地68	0155-66-7798	0155-66-7269	かさまつケアオフィス合同会社		
35 0174602219	指定居宅介護支援事業所 源	080-2471	帯広市西21条南5丁目27番地2	0155-66-5181	0155-66-5681	合同会社おひさま	Ⅲ	
36 0174602227	居宅介護支援事業所ケアプランセンターおびこ	080-0804	帯広市東4条南20丁目6番地4	0155-20-3102	0155-22-2919	社会医療法人 恵和会		
37 0174601807	指定居宅介護支援事業所 まごころ	080-0862	帯広市南の森西2丁目1番1号	0155-66-6963	0155-66-6956	合同会社SSM	Ⅱ	
38 0174602383	ライフデザイン帯広中央 居宅介護	080-0017	帯広市西7条南6丁目1番4号	0155-22-3818	0155-22-3831	ライフデザイン株式会社		あり
39 0174602441	ケアプランセンター緑ヶ丘	080-0019	帯広市西9条南18丁目2番地	0155-27-6610	0155-27-6820	株式会社まぐと		
40 0174602474	ケアプラン大空	080-0838	帯広市大空町3丁目9番地8	080-1167-8336		合同会社カノーブス		
41 0174602482	居宅介護支援事業所コスモス	080-0805	帯広市東5条南4丁目2番地16	0155-20-5501	0155-20-5502	合同会社夢		
42 0174700997	あんじゆ音響指定居宅介護支援事業所	080-0308	音更町中 鈴蘭元町2番地9	0155-30-9221	0155-30-8885	社会福祉法人 手稲ロータス会		
43 0175085919	白石・厚別・清田相談センター	004-0041	札幌市厚別区大空南2丁目1-1札幌市交通本庁舎隣	011-801-3294	011-896-8607	社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会		
44 0171100399	ケアマネー・ジミント千歳ふくろうの森	066-0066	千歳市大和4丁目2番地4	0123-40-5040	0123-40-1166	社会福祉法人 いちばつの会		

地域包括支援センター職員体制

令和4年2月1日現在

地域包括支援センター	配置職種	配置人数	内独自配置職
帯広至心寮	○社会福祉士	5	認知症地域支援推進員1,コーディネーター1
	○主任介護支援専門員	2	
	○保健師	1	
	介護支援専門員	3	認知症専門担当職員1
	計	11	
帯広市 社会福祉協議会	○社会福祉士	5	コーディネーター 2,認知症専門担当職員1
	○主任介護支援専門員	2	認知症地域支援推進員1
	○保健師	3	
	介護支援専門員	2	
	計	12	
愛仁園	○社会福祉士	3	
	○主任介護支援専門員	3	コーディネーター2
	○保健師	2	
	介護支援専門員	2	認知症専門担当職員2
	その他（精神保健福祉士）	1	認知症地域支援推進員1
	計	11	
帯広けいせい苑	○社会福祉士	2	
	○主任介護支援専門員	3	認知症地域支援推進員1,コーディネーター1
	○保健師	2	
	介護支援専門員	4	認知症専門担当職員2
	計	11	
合計	○社会福祉士	15	 独自配置経過 ・平成21年度～認知症専門担当職員配置 ・平成25年度～コーディネーター配置 ・平成27年度～認知症地域支援推進員配置（業務専従） ・平成29年度～業務量増加に伴い1名増員
	○主任介護支援専門員	10	
	○保健師	8	
	介護支援専門員	11	
	その他（精神保健福祉士）	1	
	計	45	

○必要職種

- ・保健師、その他これに準ずる者（地域ケア、地域保健等に関する経験のある看護師）1名
- ・社会福祉士、その他これに準ずる者（福祉事務所の現業員等の業務経験が5年以上又は介護支援専門員の業務経験が3年以上あり、かつ高齢者の保健福祉に関する相談援助業務に3年以上従事した経験を有するもの）1名
- ・主任介護支援専門員(主任介護支援専門員研修を修了した者)、その他これに準ずる者（ケアマネジメントリーダー研修を修了し、介護支援専門員としての実務経験を有し、かつ、介護支援専門員の相談対応や地域の介護支援専門員への支援等に関する知識及び能力を有している者）1名

地域包括支援センター実績報告（R3.12月末）

報告事項 3

1 総合相談支援

「至心寮」：帯広至心寮
「社協」：帯広市社会福祉協議会
「愛仁園」：愛仁園
「けいせい苑」：帯広けいせい苑

参考

（１）受付件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
来所	46	82	30	46	204	191	299
電話	560	671	528	437	2,196	2,507	2,366
その他	34	27	16	27	104	150	240
合計	640	780	574	510	2,504	2,848	2,905

（２）対応件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
来所	67	116	55	61	299	250	352
電話	773	760	1,784	746	4,063	3,483	3,598
訪問	572	605	875	761	2,813	2,719	3,869
その他	74	44	71	39	228	250	374
合計	1,486	1,525	2,785	1,607	7,403	6,702	8,193

（３）相談者

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
本人	86	158	81	61	386	439	470
介護者・家族	234	292	265	185	976	1,130	1,098
民生児童委員	11	17	28	20	76	67	125
町内会・近隣住民・老人クラブ等・知人	30	13	9	24	76	87	104
医療機関・薬局	98	103	78	73	352	371	302
ケアマネジャー（居宅介護支援事業所等）	72	82	49	53	256	324	316
ケアマネジャー（地域包括支援センター）	15	15	4	13	47	51	41
サービス事業者	18	11	15	25	69	66	91
行政（市役所、保健所、振興局）	57	71	41	41	210	263	328
警察署	3	3	0	1	7	6	5
法律・権利擁護関係機関	2	1	0	0	3	2	3
学校・教育機関	0	0	0	0	0	0	1
その他	14	14	4	14	46	43	21
合計	640	780	574	510	2,504	2,849	2,905

(4) 相談内容

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
介護保険制度全般の相談	796	989	1,835	864	4,484	3,805	4,307
介護予防に関する相談	26	109	201	184	520	555	670
高齢者保健福祉サービスの相談	82	210	172	131	595	740	1,383
医療・健康相談	156	284	501	451	1,392	1,242	1,479
地域資源に関する相談	14	24	133	130	301	301	412
入所施設等住まいの相談	158	88	194	185	625	526	458
認知症に関する相談	213	324	313	357	1,207	1,087	1,389
虐待・権利擁護	58	105	68	52	283	375	320
その他	121	165	151	63	500	396	409
合計	1,624	2,298	3,568	2,417	9,907	9,027	10,827

(5) 地域ネットワークづくり実施回数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
普及啓発事業	12	6	29	14	61	58	134
独自の企画	1	0	1	0	2	1	5
地域活動支援	25	39	27	20	111	87	233
その他	0	4	0	1	5	9	16
合計	38	49	57	35	179	155	388

2 権利擁護

(1) 相談件数 ～再掲～

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
虐待（疑い含む）に関する相談	8	28	9	13	58	106	116
成年後見制度の相談	24	21	3	17	65	98	65
消費者被害に関する相談	4	12	1	0	17	6	10
対応困難な課題に関する相談（上記以外）	22	44	55	22	143	165	129
合計	58	105	68	52	283	375	320

(2) 対応困難事例対応件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
年度内新規（世帯数）	30	10	32	52	124	127	90
継続（世帯数）	55	48	226	134	463	413	286
合計	85	58	258	186	587	540	376

(3) 対応困難事例の内容（重複あり）

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
本人や家族に精神障害・知的障害	16	40	133	30	219	157	145
経済的困難	3	16	1	39	59	37	33
高齢者虐待	0	9	4	3	16	37	34
独居で生活が困難	4	16	35	40	95	71	53
必要とされるサービスを拒否	7	16	53	40	116	111	82
問題行動（暴言等）を伴う認知症がある	8	11	67	19	105	63	71
行方不明リスク	2	2	22	11	37	18	17
対人関係に偏り	9	6	4	3	22	66	66
本人の意思決定困難、決定する人不在	19	16	27	14	76	67	71
多重債務などで権利擁護が必要	2	2	0	6	10	31	21
近隣とのトラブル（ゴミ屋敷等）	10	7	58	14	89	59	55
その他（上記以外）	18	14	29	42	103	79	75

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援

(1) 方法別支援件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
訪問（同伴訪問）	24	8	18	13	63	44	72
カンファレンス出席・ケース検討	2	8	4	2	16	18	24
研修会・事例検討会の開催	6	3	18	6	33	24	23
研修会等での講義・助言対応	0	0	0	0	0	1	12
合計	32	19	40	21	112	87	131

(2) 介護支援専門員の相談内容（重複あり） ～再掲～

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
介護保険制度全般の相談	24	64	16	5	109	122	115
介護予防に関する相談	1	0	0	2	3	2	3
高齢者保健福祉サービスの相談	3	17	6	0	26	25	25
医療・健康相談	6	11	4	6	27	33	51
地域資源に関する相談	0	1	0	1	2	4	23
入所施設等住まいの相談	3	7	0	4	14	14	25
認知症に関する相談	14	15	10	2	41	58	42
虐待（疑い含む）に関する相談	0	7	2	4	13	25	27
成年後見制度の相談	0	9	0	1	10	15	8
消費者被害に関する相談	0	2	0	0	2	0	0
対応困難な課題に関する相談	7	17	11	0	35	26	25
その他	5	8	6	2	21	15	13
合計	63	158	55	27	303	339	357

4 地域ケア会議

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
個別ケア会議 実施回数	8	1	3	6	18	20	26
ケアマネジメント支援会議 実施回数	6	2	9	6	23	14	11
合計	14	3	12	12	41	34	37

5 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

(1) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）及び介護予防支援件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
①介護予防ケアマネジメント	2,499	2,527	2,606	1,934	9,566	9,408	9,885
うち再委託	515	366	407	345	1,633	1,587	1,505
②介護予防支援	2,109	2,668	2,591	2,074	9,442	8,779	8,361
うち再委託	448	766	481	383	2,078	2,124	2,077
①＋②	4,608	5,195	5,197	4,008	19,008	18,187	18,246
うち再委託	963	1,132	888	728	3,711	3,711	3,582

6 事業間連携

(1) 認知症サポーター養成講座等開催状況

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
認知症サポーター養成講座 実施回数	7	6	10	7	30	36	30
〃 受講者数	361	352	677	527	1,917	2,061	708
行方不明時捜索模擬訓練 実施回数	0	0	0	0	0	1	8
〃 参加者数	0	0	0	0	0	20	180

(2) 医療と介護の連携に係る相談件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
圏域窓口病院（担当圏域）からの相談	24	2	12	10	48	30	21
圏域窓口病院（①以外）からの相談	20	17	33	17	87	56	45
その他の医療機関（①②以外）からの相談	11	18	21	21	71	58	44
ケアマネジャーからの相談	5	8	4	0	17	16	20
その他の機関からの相談	4	11	0	0	15	0	9
合計	64	56	70	48	238	160	139

(3) ひとり暮らし高齢者訪問件数

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
新規登録者の訪問	31	24	21	26	102	120	180
継続登録者の訪問	330	537	312	464	1,643	1,590	1,743
合計	361	561	333	490	1,745	1,710	1,923

(4) 家族介護者支援実施状況

	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑	合計	R2.12月末	R1.12月末
家族介護者リフレッシュ事業 実施回数	1	1	1	1	4	4	8
茶話会等集いの場への支援 実施回数	1	4	2	5	12	5	22

<概要>

国が実施している地域包括支援センターの運営状況調査（R3.6月実施）について、R3.12月に全国集計結果及び入力用チェックシートの提供があったもの。チェックシートは運営状況調査の調査項目を評価指標としており、各地域包括支援センター及び市が回答結果を入力すると各業務の達成率が表示され、その結果を踏まえて業務の重点化などに活用し機能強化を図ることを目的としている。

「至心寮」：帯広至心寮

「社協」：帯広市社会福祉協議会

「愛仁園」：愛仁園

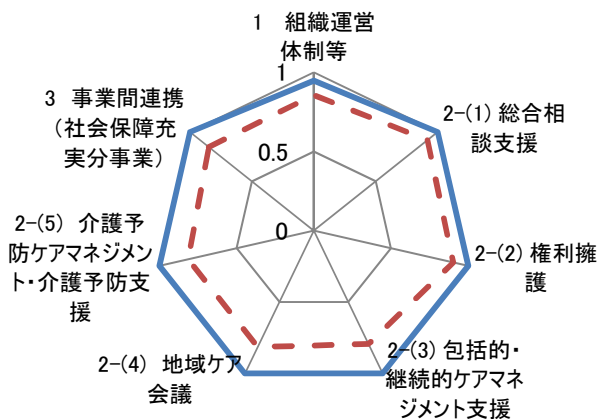
「けいせい苑」：帯広けいせい苑

●地域包括支援センター

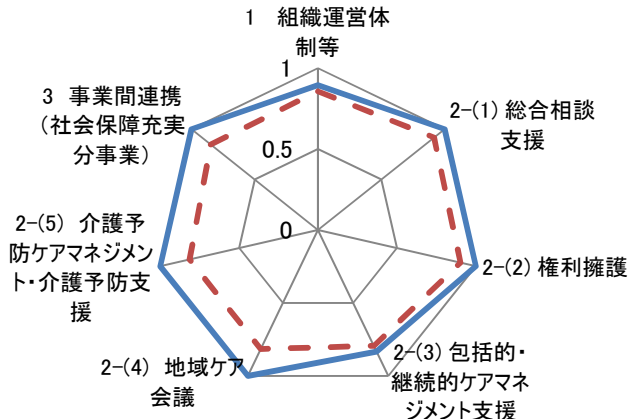
評価指標の達成率

	全国 (センター)	至心寮	社協	愛仁園	けいせい苑
1 組織運営体制等	85.6%	94.7%	89.5%	94.7%	94.7%
2-(1) 総合相談支援	91.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2-(2) 権利擁護	90.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	79.4%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%
2-(4) 地域ケア会議	81.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	81.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3 事業間連携（社会保障充実分事業）	84.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

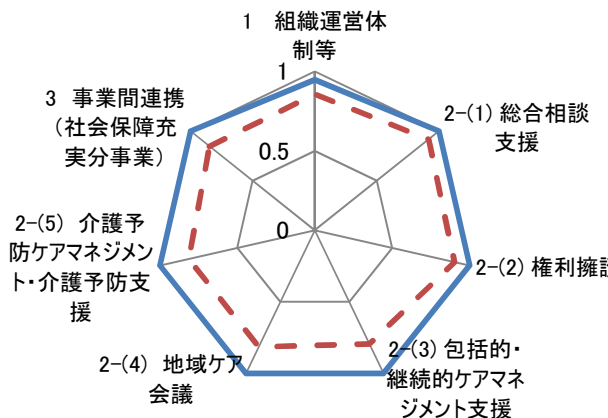
【帯広至心寮】



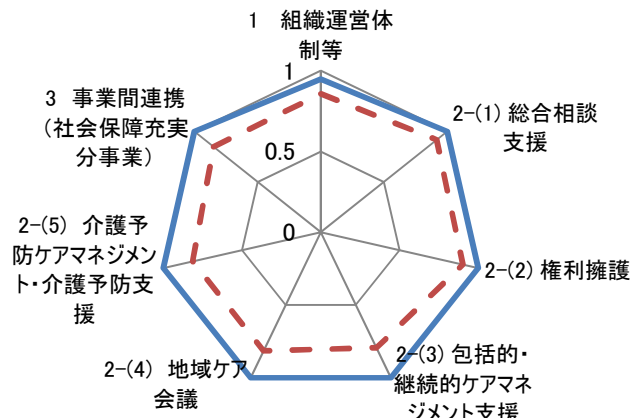
【帯広市社会福祉協議会】



【愛仁園】



【帯広けいせい苑】



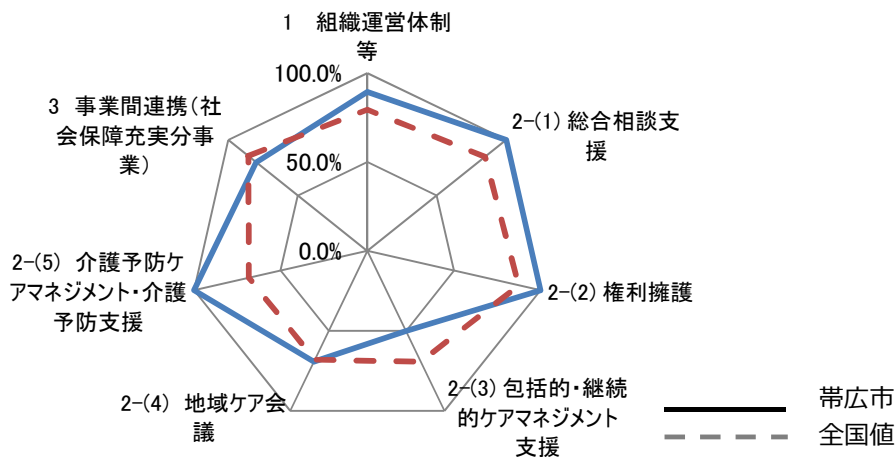
センター ————
全国値 - - - - -

●帯広市

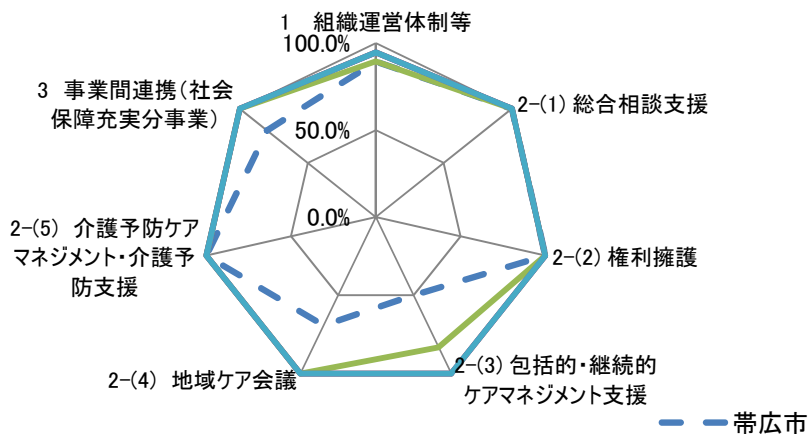
評価指標の達成率

	全国 (市町村)	帯広市
1 組織運営体制等	79.4%	89.5%
2-(1) 総合相談支援	84.8%	100.0%
2-(2) 権利擁護	87.4%	100.0%
2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	69.2%	50.0%
2-(4) 地域ケア会議	68.0%	69.2%
2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	68.4%	100.0%
3 事業間連携（社会保障充実分事業）	85.6%	80.0%

は全国値より低い項目



●全体（地域包括支援センター 4 か所と帯広市）



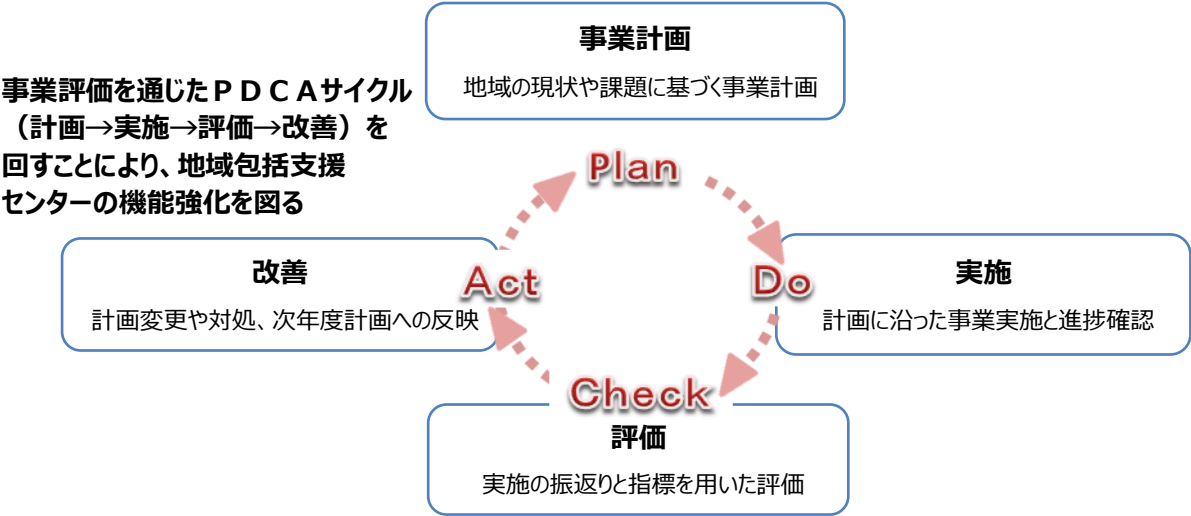
●全体の傾向について

- ▶達成率は、全体的に全国調査結果を上回っている。
- ▶特に、『総合相談支援』『権利擁護』『地域ケア会議』『介護予防ケアマネジメント・介護予防支援』『事業間連携』については、全ての地域包括支援センターで100%である。
- ▶『包括的・継続的ケアマネジメント支援』については、各地域包括支援センター及び市で差はあるが全体として達成率が低めである。

令和 2 年度
帯広市地域包括支援センター事業評価について（市独自評価）

I 基本的な考え方

地域包括支援センター（以下「センター」）ごとに課題解決のための計画作成及び取り組みにつながるよう P D C A サイクルによる機能強化を図るため、国及び市独自の評価指標を用いてセンターの事業評価を実施する。国の評価指標においては、全国集計との比較など見える化による確認や、市町村評価指標による保険者機能のチェックのため活用する。



II 事業評価における地域包括支援センター運営協議会の役割

センター運営協議会は、帯広市が実施した行政評価について、各センターのよいと思われる取り組みや強化すべき内容等に加え、評価項目及び基準が適切かなど事業評価全体について意見を付すものとする[※]。

※根拠

- 1 帯広市地域包括支援センター運営協議会設置要綱（以下「要綱」）
要綱第 2 条（所掌事務）において、「運営協議会は、次の各号に掲げる事項について検討を行い、市長に意見等を具申する」としており、その事項として、「センターの運営に関すること（事業内容が適切に実施されているかどうか、基準に基づき、定期的に又は必要な時に、事業内容等を評価するもの）」と記載している。
- 2 国による地域包括支援センター運営状況調査
市町村指標として「運営協議会において、センターの評価結果をもとに議論が行われ、改善提案があったか」という項目があり、市町村が取り組むこととされている。

Ⅲ 評価方法

1 全体構成

大分類は国に合わせ 7 分類とし、分類ごとに評価項目を設定した（全 23 項目）。評価項目ごとに根拠となる項目を設定し（全 128 項目）、そのうち 51 項目は国の評価指標とした。また、根拠項目のうち詳細に内容を記載する項目を設定し（39 項目）、そのうち 16 項目を評価対象とした。

【表 1】全体構成（項目数）

大分類	評価項目	根拠項目		
			選択項目 （国指標）	詳細記載項目 （評価対象）
I 組織・運営体制にかかる基本的事項	6	33	22 (17)	11 (5)
II 総合相談支援業務	3	18	12 (6)	6 (3)
III 権利擁護業務	3	13	8 (5)	5 (2)
IV 包括的・継続的ケアマネジメント支援	2	13	9 (6)	4 (2)
V 地域ケア会議	2	14	11 (9)	3 (1)
VI 介護予防ケアマネジメント	2	11	8 (4)	3 (1)
VII 事業関連携及び関連事業等	5	26	19 (4)	7 (2)
合計	23	128	89 (51)	39 (16)

2 実施の流れ

センターによる評価表の記入 (8/4～8/25)	センターが評価指標となる各設問について、センター自己評価用シートへ回答及び詳細を記載
市によるセンターへのヒアリング (10/19、10/21)	センターが記載したシートに沿って、回答の根拠の確認及び詳細内容の聞き取りを行い、必要時修正や追加を実施
市による行政評価 (10/22～)	センター自己評価用シート及び実績報告等を評価対象として、基準に基づいて行政評価を実施
センターと評価結果の共有 (12/20、12/21、12/22)	各センターと共有
運営協議会より意見聴取 (2/24)	国および市評価について報告 質疑及び意見聴取し、運営協議会報告と併せ公表
センターと運営協議会からの意見を共有 (2～3 月予定)	代表者会議又は令和 4 年度にむけた意見交換時に共有

3 評価シート

大分類 I、II、III…

III 権利擁護業務

項目1～3の回答の平均 (★) → 1.0
(★)を実施率 (%) で表示 → 100.0
行政評価を実施率 (%) で表示 → 94.4

平均

評価項目 1、2、3…

センター自己評価

常広市による行政評価

評価指標【評価項目：3 根拠項目：13 (5)】	回答入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政回答	行政評価基準	評価
1 成年後見制度の活用を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 成年後見制度の市町村申立てに関する判断基準について、市から共有されているか。[26]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び申し立て支援の件数 1 回答が「1」で、申し立て支援の件数が複数 2 回答が「1」で、申し立て支援の件数が1件 3 回答が「1」で、申し立て支援の件数が0件 4 回答が「2」	100.0
イ. 常広市成年後見支援センターと連携し支援にあたっているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	みまもへるで相談受付をした後、本人申し立てとなることを確認した際、地域包括支援センターに連絡があり、情報を共有したり、高齢者本人が住むサービス付き高齢者住宅と一緒に訪問する等して対応した。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. その他成年後見制度の活用に関する取り組みについて。	自由記載	・本人が申し立てをする場合、書類の書き方や必要書類の取り寄せの他、家庭裁判所への連絡、同行訪問を行った。また、後見人等が決まれば関係機関への連絡と招集を行い、引き継ぎ等の場を設定した。 ・依頼を受けて、関係機関に対して成年後見に関する講座を1回行った。		ア. H30 申し立て支援3件	

国の評価指標の番号

センターが記載

ヒアリング後、市が記載

平均

IV 結果

各センターの行政評価結果については、次ページ以降を参照。

事業評価については、令和元年度より開始し今回で3回目の実施となる。全体の傾向として、昨年度より自己評価、行政評価ともに上昇がみられた。各センターが昨年度の評価結果を受けて改善や充実に取り組んでいることを共有することができた。また、全てのセンターにおいて極端に実施率が低い業務はなく、必要とされる機能を果たしていることが確認できた。

今後の機能強化に向けては、これまでの評価手法において設問における記入者の捉え方等により点数に偏りが見られることや、評価に反映されない取り組みがあることが課題となっている。各センターの評価が上昇してきている状況から、各センター内の取り組みにとどまらず、好事例や良い取り組み内容については、市全体で共有し全センターで横展開できるようにつなげ、センター全体の水準を底上げできるような機能評価に仕組みを整えていく必要がある。

帯広市地域包括支援センター事業評価（令和2年度分）

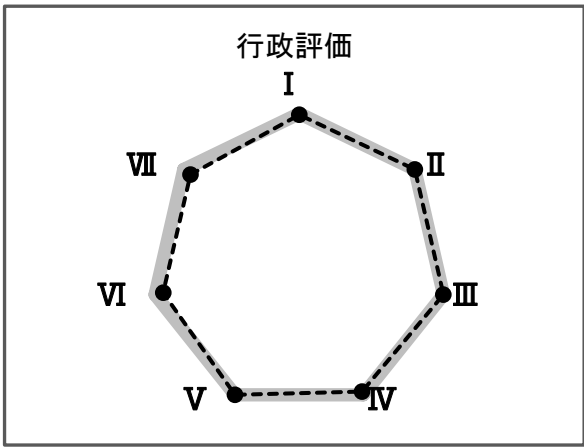
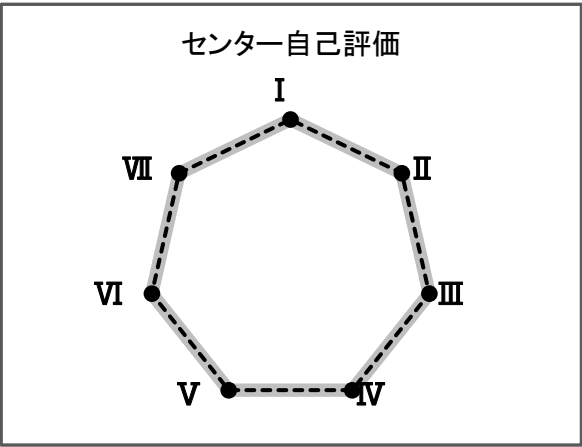
地域包括支援センター 帯広至心寮

	センター 自己評価	行政評価
I 組織・運営体制にかかる基本的事項	100.0 %	100.0 %
II 総合相談支援業務	100.0 %	100.0 %
III 権利擁護業務	100.0 %	100.0 %
IV 包括的・継続的ケアマネジメント	100.0 %	97.6 %
V 地域ケア会議	100.0 %	100.0 % ↑
VI 介護予防ケアマネジメント	100.0 %	94.4 % ↑
VII 事業間連携及び関連事業等	100.0 %	94.2 %

（参考 前年度）

センター 自己評価	行政評価
100.0%	100.0%
100.0%	100.0%
100.0%	96.3%
100.0%	100.0%
83.3%	92.9%
100.0%	83.3%
100.0%	90.4%

矢印（↑↓）は前年比5%以上の増減があった項目口



----- 評価結果 100%

※率の算出方法

【センター自己評価】

評価項目について、「よくできている」から「まったくできていない」の4段階で自己評価を実施し、「よくできている」を100%、「まったくできていない」を0%とし、I～VIIの大分類ごとに平均したもの。

【行政評価】

評価項目ごとに設定された各設問について、実施状況を基準に基づいて0%～100%で表し、項目ごとに平均し、さらにI～VIIの大分類ごとに平均したもの。

I 組織・運営体制にかかる基本的事

項目1～6の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：6 根拠項目：33 （11）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域包括支援センターの事業計画が適切に作成され、計画に沿って取り組まれているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域包括支援センター事業実施方針の内容に沿って事業計画を策定しているか。[11]	1	1 はい 2 示された方針に沿って策定していない 3 示された方針の内容を理解できなかった 4 方針が示されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしているか。[15]	1	1 はい 2 いいえ	1	提出済みの事業計画書 1 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、それに対応する具体的な重点項目を定めている 2 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、具体的ではないが重点項目を定めている 3 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載が十分ではないが、重点項目を定めている 4 重点項目を定めていない	100.0
ウ. 事業計画の策定に当たって、市と協議し、指摘がある場合、これを反映しているか。[11-1] ※協議方法は問わない、記録が残されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 協議・指摘事項及び反映した内容について。	内容 記載	事業計画が会議の議題としてあげられ、市や他のセンターとその内容を共有したり、協議する等の機会があった。	1	★記載された内容及び事業計画書 1 協議・指摘事項の記載があり反映した内容が事業計画書に盛り込まれている、協議の記載があるが指摘や修正事項がなかった 2 協議・指摘事項の記載があるが、反映した内容が事業計画書に盛り込まれていない 3 協議・指摘事項の記載がない	100.0
オ. 市の支援・指導の内容により逐次センターの業務改善が図られているか。[12]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 支援・指導内容及び業務改善の取り組みについて。	内容 記載	新型コロナウイルスに関して、市からマニュアルやガイドラインが示されたため、それに沿って活動してきた。	1	記載された内容 1 支援・指導内容の記載があり、業務改善の複数の取り組みが記載されている 2 支援・指導内容の記載があるが、業務改善の取り組みの記載が少ない、または記載がない 3 支援・指導内容がなかった、または記載がない	100.0
キ. その他事業計画に関する取り組みについて。	自由 記載	PDCAサイクルを意識しながら事業計画を作成し、取り組んできた。		評価なし	
2 帯広市及び各地域包括支援センターと連携し業務を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市が設置する定期的な連絡会合に、毎回出席しているか。[13]	1	1 はい 2 設置されているが、出席しないことがある 3 定期的な連絡会議が設置されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 市各部署との連携を図っているか。	1	1 市民福祉部、その他必要な部署と連携している 2 市民福祉部以外は地域福祉課を通じ連携 3 主に市民福祉部との連携 4 地域福祉課以外は連携をとっていない	1	センターの回答の通り	100.0

ウ. 各職種、役割間で地域包括支援センター同士の情報共有や連携強化を図っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は () 内に内容を記載	6	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	100.0
	1	職種間の連携会議、打合せにおいて連携している			
	1	ケースの引継等において連携している			
	1	研修情報等の共有を行っている			
	1	事業の実施方法や最新情報等について共有を行っている			
	1	困難事例等ケース対応において情報共有等連携している			
	1	課題の共有や、解決にあたり情報共有等連携している			
		その他 ()			
エ. その他連携に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	
3 業務に必要な人員を確保し、職員の育成を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 三職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）を配置しているか。[16]	1	1 はい 2 いいえ	1	前年度の運営状況調査の包括的支援業務の人数 1 三職種が各1人以上で合計6.5人以上 2 三職種が各1人以上で合計5.5以上6.5人未満 3 合計が5.5人以上6.5人未満 4 合計が4.5人以上5.5人未満 5 合計が3.5人以上4.5人未満 6 合計が3.5人以下	100.0
イ. 各職種の専門性を生かせるよう自己研鑽及びセンター内での育成を行っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は () 内に内容を記載	5	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	各自研修参加や文献学習などで自己研鑽している			
	1	センター内で学習会など研修を実施している			
	1	センター内で各自の研修結果の共有を行っている			
	1	経験年数に応じ指導者を決めて育成を行っている			
	1	育成に関する方針や計画がありそれに沿って行っている			
		その他 ()			
ウ. 職場内研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	・エリア内事例検討会 ・地域包括支援センター内の学習会	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
エ. センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を実施しているか。[18]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 職場外研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	・介護支援専門員更新研修 ・地域包括ケアセミナー(オンライン研修) ・認知症地域支援体制推進全国合同セミナー(オンライン研修) ・成年後見制度普及セミナーin北海道(オンライン研修)	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
カ. その他人員体制、職員の育成に関する取り組みについて。	自由記載	真宗協会で行われている人材育成委員会の取り組みに沿って実施。		評価なし	

4 個人情報保護の徹底を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 個人情報保護に関する帯広市の取扱方針に従って、個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。[22] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 個人情報漏えいした場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護の対応を各職員へ周知しているか。[23] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 個人情報保護に関する責任者（常勤）を配置しているか。[24]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 個人情報の持出・開示時は管理簿への記載と確認をするなど、盗難や紛失のないよう管理しているか。[25] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他個人情報保護に関する取り組みについて	自由記載			評価なし	
5 市民が利用しやすい相談体制となっているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センターの開設時間内は、何らかの形で職員が在席（やむを得ず不在時は転送電話などで対応）し、市民が利用しやすい体制をとっているか。	1	1 センター職員の不在時は他の職員の在席により対応している 2 職員不在時は転送電話により対応している 3 転送電話に出られない時があり、後でかけ直している 4 転送電話に出られない時があり、再度の連絡を待って対応している	1	センターの回答の通り	100.0
イ. パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。[21]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[19]	1	1 夜間・早朝の窓口を設置し周知している 2 夜間・早朝の窓口を設置しているが周知していない 3 夜間・早朝の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[20]	1	1 平日以外の窓口を設置し周知している 2 平日以外の窓口を設置しているが周知していない 3 平日以外の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 相談者のプライバシー確保に関する市の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。[28] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. その他相談体制に関する取り組みについて。	自由記載	・営業時間外でも携帯電話での相談受付やその対応 ・家族の都合等に合せた、土日での相談対応		評価なし	

6 利用者の満足度の向上について、地域包括支援センター内で体制を整備し努めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や対応策について記録しているか。[26] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 苦情内容及び対応について。 ※前年度において苦情がなかった場合は、過去の事案を記載	内容 記載	ヒアリングにて過去の事案について確認済み。	1	記載された内容 1 苦情内容及び適切で十分な対応策の記載がある 2 苦情内容及び十分とは言えないが対応策の記載がある 3 苦情内容及び対応策の記載がない	100.0
ウ. 苦情及び苦情につながる可能性のある事案について、職員間で検討・共有し、適切な再発防止対策をしているか。	1	1 苦情及び可能性のある事案の共有と対応策の検討を行い記録を残している 2 苦情及び可能性のある事案の共有と検討を行っているが記録していない 3 苦情があれば共有し対応策の検討を行っている 4 主に担当者のみが苦情に対応している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センターが受けた介護サービスに関する相談について、市に対し報告や協議を行う仕組みが設けられているか。[27]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他満足度の向上に関する取り組みについて	自由 記載	なし		評価なし	

評価指標【評価項目：3 根拠項目：18 (6)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域支援ネットワークの構築を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 担当地域の団体等と積極的に連携を図っているか。	1	1 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門、その他の関係団体と連携を図っている 2 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門の関係団体と連携を図っている 3 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロン又は高齢者部門の関係団体と連携を図っている 4 積極的には連携を図っていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。[29] ※介護サービス事業者・医療機関・民生委員の情報 ※データ・紙面で整備され、見直しもしている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	ヒアリング状況 1 圏域内の関係機関の情報について、マップ及びリストで管理し提出できる 2 圏域内の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理している 3 一部の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理し提出できる 4 特にマップ又はリストによる管理をしていない	100.0
ウ. ボランティア活動の支援や、ボランティア活動への参画を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. ウが「1」の場合、具体的な支援内容について。	内容 記載	既存のボランティア活動団体（ハッピー依田）へ顔を出しながら、意見交換を行ったり、ちょっとした支え合いサポーターや認知症サポーターが自ら行う見守り等の活動と情報交換した。	1	記載された内容 1 実効性のある具体的な支援内容が複数記載されている 2 支援内容が記載されている 3 支援には至っていないが、準備段階として情報収集、関係作り等記載されている 4 行っていない、または記載がない	100.0
オ. 地域住民、関係機関に介護予防や地域包括ケアシステム構築等の普及啓発を進めているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は （ ）内に内容を記載	6 1 1 1 1 1 1 その他（ ）	←選択数（入力しない） 年度当初に講座等のメニューを設定している 年度において重点的に実施するテーマを設定している 地域・関係者の会合などにおいて普及啓発について周知している ちらし・HPなどで普及啓発について周知している 地域住民・関係機関からの依頼に応じ実施している 実施後何らかの手段で結果を周知・公表している その他（ ）	1 2 3 4	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	100.0
カ. その他地域支援ネットワーク構築に関する取り組みについて。	自由 記載	・自主サークル同士の連携や共有も構築している。 ・フォーマルな関係者以外のキーマンとの連携を進め情報共有した。		評価なし	

2 相談内容の把握、分析を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 的確な状況把握を行い、専門的・継続的な関与または、緊急対応の必要性を判断してしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. ワンストップサービスの拠点として情報提供、他機関等の紹介及びつなぐ支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 相談事例の終結条件を市と共有しているか。[30]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 相談事例の分類方法を、市と共有しているか。[31]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 1年間の相談事例の件数を市に報告しているか。[32]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 他のセンターと比較し、相談件数及び相談内容の特徴等について。 ※地域包括支援センター運営協議会資料、連絡会議資料等を参考	内容記載	例年とさほど変化はないが、認知機能の低下により金銭管理ができない、契約等の行為が行えない、身寄りがいないなどのケースが多く、成年後見制度の相談が多くなっている。	1	記載された内容 1 相談内容の特徴について、担当圏域の現状も踏まえ分析し具体的に記載されている 2 相談内容の特徴について分析し具体的に記載されている 3 相談内容の特徴について分析し、具体的ではないが記載されている 4 分析していない、または記載がない	100.0
キ. 相談内容の把握、分析に関する取り組みについて。	自由記載	認知症に関する相談が増加していることから、定期的に相談後の経過をモニタリングするなどしている。		評価なし	
3 複合的な課題を持つ世帯等への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。[34]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護、子育て、障がい等複合的な課題を持つ世帯への相談対応を行っているか。[35] ※あてはまるものに「1」を入力。ただし、「特に対応していない」に「1」を入力する場合は1つだけ選択する。	1 1 その他（ ） 特に対応していない	市町村や他分野の相談機関と協議しつつ、対応している 相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容を把握するようにしている その他（ ） 特に対応していない	1	選択数 1 2個以上 2 1個 3 特に対応していないを選択	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	本人に精神疾患、家族にも判断力の低下や生活困窮等複合的な課題がある場合には、地域包括支援センターが核になり、生活支援課や居宅介護支援事業所等と協議しながら地域ケア会議を開催しつつ、一つひとつの課題に優先順番をつけ、サービス事業所等につなげた。	1	記載された内容 1 複合的な課題及び対応について具体的に記載されている 2 複合的な課題及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. 相談事例の解決のために、市への支援を要請し、その要請に対し市から支援があったか。[33]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他、複合的な課題を持つ世帯等への支援に関する取り組みについて。	自由記載	カンファレンスや地域ケア会議等を開催し、複合的な課題を持つ家族に対し、自立した生活を営めるよう支援体制を検討し、取り組みを進めた。		評価なし	

Ⅲ 権利擁護業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：3 根拠項目：13 (5)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 成年後見制度の活用を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 成年後見制度の市町村申立てに関する判断基準について、市から共有されているか。[36]	1	1 共有されており、申し立て支援も複数ある 2 共有されており、申し立て支援が1件又は申し立てまでの相談対応は実施したが申し立て支援は0件 3 共有されているが、申し立てまでの相談対応及び支援はなかった 4 共有されていない	1	センターの回答のとおり	100.0
イ. 帯広市成年後見支援センターと連携し支援にあたっているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容 記載	住居問題・健康・身寄りが無い・金銭問題など、複合的困難を抱えた方の個別ケア会議の参加の中で、助言やアドバイスを受け、その後、市長申し立てを行った。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. その他成年後見制度の活用に関する取り組みについて。	自由 記載	居宅介護支援事業所のケアマネジャーから相談を受けて本人申し立て支援を行い、書類の書き方や必要書類の取り寄せの他、家庭裁判所へ申し立て書類を提出し、本人面談に同席した。また、後見人選任後は引き継ぎ等の場を設定した。	1	評価なし	
2 関係機関と連携し高齢者虐待事例、困難事例に速やかに対応しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市と共有しているか。[38]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センターまたは市が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。[39]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 困難事例や課題の残った事例、連携が困難又は成功した事例等について、市と共有しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0

エ. センター内で事例の共有及び支援を円滑にするための体制をとっているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は () 内に内容を記載	5	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	事例の担当者が関係機関と連携し対応している			
	1	センター内で事例の共有や検討を行っている			
	1	センター内で報告会や事例検討会等を行っている			
	1	副担当を決めるなど複数で対応している			
	1	管理者等に随時報告や相談を行い対応している			
		その他 ()			
オ. その他虐待防止・困難事例等に関する取り組みについて。	自由記載	職能団体である北海道社会福祉士会十勝地区支部が企画した「高齢者虐待対応における学習会（web開催）」で虐待対応の事例を発表するとともに、他の地域包括支援センターや社会福祉士と虐待防止や対応、困難事例に関する（8050下での虐待、共依存など）情報交換を行った。		評価なし	
3 消費者被害の未然防止、早期発見、支援等を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。[29] ※相談の記録がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. アが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	結果として消費者被害は確認されなかったが金融機関から相談のあった方について、当該金融機関、警察と情報共有した。対応に当たっては帯広市消費生活アドバイスセンターへ同じようなケースがないか相談した。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
ウ. 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。[30] ※少なくとも民生委員に情報提供し、その内容がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. その他消費者被害防止に関する取り組みについて。	自由記載	地域の自主活動サークルに対して「地域包括支援センターの権利擁護業務について」と題した出前講座を開催し、その中で消費者被害について事例を基に話をして注意喚起を行った。		評価なし	

Ⅳ 包括的・継続的ケアマネジメント 項目1～2の回答の平均 (★) →

1.0

(★)を実施率(%)で表示 →

100.0

行政評価を実施率(%)で表示 →

97.6

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (4)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築のため様々な社会資源の活用ができるよう地域の体制整備を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.1	各根拠項目の平均実施率で評価	95.2
ア. 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握しているか。[42] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 おおむねほとんど把握しており、データまたは紙面で管理している 2 一部把握しており、データまたは紙面で管理している 3 把握しているが、データまたは紙面で管理していない 4 特に把握していない	100.0
イ. 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。[44]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び地域ケア会議等報告書 1 事例検討会又は個別ケア会議を複数回開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 2 事例検討会又は個別ケア会議を開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 3 事例検討会又は個別ケア会議を開催しているが、ニーズや課題の記載がない 4 開催していない	100.0
ウ. 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。[45] ※主催は問わない、地域ケア会議は含まない	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ.ウが「1」の場合、具体的な内容について	内容 記載	圏域病院が参集し、利用者・障害福祉サービス事業所・圏域病院・センター職員で利用者の課題について意見交換を行った。	2	1 介護支援専門員のニーズについて記載があり、複数の取り組みの記載がある 2 介護支援専門員のニーズについて記載があり、取り組みの記載がある 3 介護支援専門員のニーズについて記載がないが、何らかの取り組みの記載がある 4 介護支援専門員のニーズ及び取り組みの記載がない	66.7
オ. 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。[46]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び普及啓発の報告書 1 日常的に実施しており、10回以上実施している 2 依頼に応じ実施しており、5～9回実施している 3 依頼に応じ実施しており、1～4回実施している 4 依頼がなく実施していない	100.0

カ. 関係機関と介護支援専門員との連携体制及び、介護支援専門員同士の連携体制の構築を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. カが「1」の場合、具体的内容について。	内容記載	東圏域の協議体に参加し、地域の現状や介護予防の必要性、地域包括支援センターや介護支援専門員の役割などを説明した。	1	記載された内容 1 関係機関との連携及び、介護支援専門員同士意見交換や情報共有ができる場の設定など相談しやすい環境づくりを行っている 2 関係機関との連携及び、地域包括支援センターと意見交換や情報共有ができる場の設定などを行っている 3 相談事例において必要な連携を図り体制構築を支援している 4 支援していない、または記載がない	100.0
ク. その他ケアマネジメントのための体制整備に関する取り組みについて。	自由記載	コロナ禍での体制を整えるために、担当圏域内の居宅介護支援事業所へオンライン環境のアンケートを行った。		評価なし	
2 介護支援専門員に対する支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 支援困難な事例等への対応等個々の介護支援専門員へのサポートを行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。[47] ※整理・分類と経年的把握を行っている場合「はい」	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。[43] ※データ・紙面で提供している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等を開催しているか。	1	1 センター単独で定期的に開催した 2 センター単独で必要に応じ開催した 3 センター単独では開催がなく、合同企画で開催した 4 開催しなかった	1	センターの回答及び普及啓発等の報告書 1 回答が「1」で、計画的に介護支援専門員に周知し、複数回実施している 2 回答が「2」で、複数回実施している 3 回答が「2」で、実施している 4 回答が「3」 5 回答が「4」	100.0
オ. その他介護支援専門員への支援に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	

V 地域ケア会議

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域ケア会議の目的、機能を理解し推進しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域ケア会議体系図及びマニュアルに沿って地域ケア会議を実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。[49] ※データ・紙面で周知している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 運営方針がデータまたは書面で整備されており、周知している 2 会議案内等への記載により、周知している 3 口頭で周知している 4 特に周知していない	100.0
ウ. 地域ケア会議の開催に当たり、参加者に対し丁寧な事前説明を行っているか。	1	1 おおむね訪問して説明し文書を用いて参加依頼している 2 電話と文書で説明し、参加依頼している 3 電話又は文書で説明し、参加依頼している 4 特に説明はせず、電話又は文書で参加依頼している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。[55] ※データ・紙面で共有している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他地域ケア会議の開催に当たっての取り組みについて。	自由 記載	個別ケア会議を終えた後、参加者にお礼文と共に支援計画を郵送している		評価なし	
2 地域ケア会議の積み重ねを行い、圏域の課題抽出及び整理を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。[50]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実施回数 1 個別ケア会議（事例検討を行うケア会議を含む）を6回以上開催している 2 4～5回開催している 3 1～3回開催している 4 開催していない	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。[53] ※対応策とは、課題の明確化・目標の確認・優先順位の確認・支援や対応の確認・モニタリング方法の決定などを言う	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びケア会議報告書 1 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定があり、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 2 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定はなかったが、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 3 回答が「1」だが、自立支援・重度化防止等の対応策について報告書に記載がない 4 回答が「2」	100.0

ウ. 市から示された地域ケア会議における個人情報取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。 [54]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。[56] ※モニタリングが必要とされた事例は全て実施している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、前年度のモニタリング実施件数（地域ケア会議の実施年度は問わない）と主な方法について。	内容 記載	モニタリング実施件数：15回 主な方法:モニタリングを目的とした個別ケア会議の開催の他、電話等で確認した。また、亡くなった高齢者もいたが、関係者にはその報告の電話をしている。	1	記載された内容 1 複数の事例でモニタリングを行い、具体的で実効性のある方法が記載されている 2 複数の事例でモニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 3 モニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 4 モニタリングを行っていない、または記載がない	100.0
カ. センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。[51]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市に報告しているか。[57]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答のとおり ※H31からは圏域の課題整理結果も対象	100.0
ク. その他地域課題の整理に関する取り組みについて。	自由 記載	個別ケア会議の後は、センター内で振り返り等を行い、その中で地域課題として考えられるものを整理している。		評価なし	

VI 介護予防ケアマネジメント

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

94.4

評価指標【評価項目：1 根拠項目：11 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 本人主体の自立支援に資するケアマネジメントを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 介護予防ケアマネジメントのマニュアルに沿って支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用しているか。[60]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、心身の機能改善だけでなく、生きがいや役割を持って生活できるよう支援しているか。	1	1 興味・関心チェックシート等を活用し、活動や参加のための取り組みをケアプランに位置付けている 2 活動や参加のための取り組みをケアプランに位置付けている 3 活動や参加のための取り組みはあまりケアプランに位置付けていない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。[59]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、地域の社会資源を活用した事例の概要及び対応について。	内容 記載	民間サービスや自主サークル参加をプラン上に位置づけている	1	記載された内容 1 社会資源の活用について具体的な記載があり、効果的なケアマネジメントを行っている 2 社会資源の活用について記載があり、ケアマネジメントを行っている 3 社会資源の活用がない、または記載されていない	100.0
カ. 総合事業のサービス提供事業所、関係者等と連携を図っているか。	1	1 市主催の連絡会議等の参加のほか、利用者の相談、情報共有、地域ケア会議の参集等で連携を図っている 2 市主催の連絡会議等の参加のほか、時々連携を図っている 3 主に市主催の連絡会議等の参加により連携を図っている 4 特に連携していない	1	センターの回答の通り ※H31からは報告書も対象	100.0
キ. その他、介護予防ケアマネジメントに関する取り組みについて。	自由 記載	センター内で重症化予防についての学習会を実施した。		評価なし	

2 介護予防ケアマネジメント等の委託を適正に行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。[62]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。[58]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 委託先の居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアプランの作成ができるよう、支援しているか。	2	1 地域ケア会議での検討及び総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 2 地域ケア会議での検討又は総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 3 ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている	2	センターの回答の通り	66.7
エ. その他介護予防ケアマネジメント等の委託に関する取り組みについて	自由記載	委託契約を結ぶ際に介護予防ケアマネジメントの説明を行っている。		評価なし	

VII 事業間連携及び関連事業等

項目1～5の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

94.2

評価指標【評価項目：5 根拠項目：26 (7)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 正しい知識の普及や相談支援等、 認知症高齢者が地域で安心して暮ら せるよう見守り体制の構築をしている か。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.6	各根拠項目の平均実施率で評価	82.3
ア. 独自企画、または地域からの依頼で認 知症サポーター養成講座を実施しているか。	1	1 地域、市からの依頼に加え、独自企画や ターゲットを決めるなど地域への働きかけにより実 施している 2 地域、市からの依頼があり、複数回実施し ている 3 市からの依頼で実施している 4 実施していない	1	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が7回以上 2 回答が1で実施回数が5回以上、回答が2で 実施回数が7回以上 3 回答が2で実施回数が7回未満、回答が3で 実施回数が7回以上 4 回答が3で実施回数が7回未満 5 回答が4	100.0
イ. 行方不明高齢者の搜索や見守りの模 擬訓練等を実施し、その後の取り組みにつ ながっているか。	3	1 人材発掘や活用、地域の取り組みにつな がった（予定含む） 2 実施したが人材発掘や取り組みにはつなが らなかった 3 検討したが、実施に至らなかった 4 検討及び実施をしなかった	4	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が複数回 2 回答が1で実施回数が1回、回答が2で実施 回数が複数回 3 回答が2で実施回数が1回 4 回答が3 5 回答が4	25.0
ウ. 認知症高齢者とその家族への支援を 行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 行方不明やそのおそれのある高齢者へ の支援をしているか。	1	1 必要な医療・介護のサービスにつなげ、地域 の見守り体制の充実に向けた支援を行っている 2 必要な医療・介護のサービスにつなげるなど の支援を行っている 3 支援は行ったが、必要なサービスにつながっ ていない 4 特に支援は行っていない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 認知症初期集中支援チームと訪問支 援対象者に関する情報共有を図っている か。[66]	1	1 はい 2 いいえ	3	センターの回答及び認知症初期集中支援チーム の対象者数 1 情報共有を図り、対象者数が5件以上 2 情報共有を図り、対象者数が3～4件 3 情報共有を図り、対象者数が1～2件 4 情報共有を図っていない、または対象者がい なかった	33.3
カ. 地域住民や関係機関に対し認知症に 関する正しい知識を普及しているか。	1	1 地域住民への出前講座及び地域ケア会議 での周知を複数回実施するほか、関係機関へ の学習会や講話等を実施した 2 何らかの方法で地域住民への周知を実施す るほか、関係機関への学習会や講話等を実施 した 3 何らかの方法で地域住民への周知又は関 係機関への学習会や講話等を実施した 4 特に実施していない	1	センターの回答の通り	100.0
キ. 認知症サポーター等、認知症の人や家 族を支援する人材の発掘及び活動支援に つながる取り組みを実施しているか。	1	1 複数の取り組みを実施した 2 何らかの取り組みを実施した 3 実施に至らなかったが、準備又は検討を実 施した 4 特に実施しなかった	1	センターの回答の通り	100.0
ク. キが「1」「2」「3」の場合、具体的な取 組みについて	内容 記載	認知症総合支援事業と連携しながら、ちよつ とした支え合いサポーターや認知症サポーターと共 同で認知症サポーターステップアップ講座を開催 し、更なる学習を習得し、今後の地域支援への 働きかけを行った。また、緊急事態宣言中の学 習の機会として、オレンジ通信を発行し、情報 提供を行った。	1	1 更なる学習機会及び場の提供の実施のほ か、実際に活動につながった事例があり、複数の 取り組みの記載がある 2 実際に活動につながった事例があり、複数の 取り組みの記載がある 3 活動につながる見込みがある事例があり、何 らかの取り組みの記載がある 4 何らかの取り組みの記載がある 5 キが「4」又は、取り組みの記載がない	100.0

ケ. その他見守り体制の構築の取り組みについて。	自由 記載	個別に町内会や民生委員、隣人に声かけや緊急時の連絡を依頼した。		オ 認知症初期集中支援チーム対象者数 2件	
2 生活支援体制整備事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。[67]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 生活支援コーディネーター、地域支え合い推進員と連携を図っているか。	1	1 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は日常的に実施している 2 自法人の推進員とは日常的に連携し、その他は時々連携している 3 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は少ない 4 ほとんど連携していない	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1・2」の場合、連携の具体的な内容や成果について。	1	1 地域ケア会議、協議体等の連携により、実際に地域課題の解決策を講じている 2 地域ケア会議、協議体等の連携により、地域課題の共有及び解決策の検討を行っている 3 地域ケア会議、協議体、事業への同行等の連携を行っている 4 ほとんど連携していない	1	センターの回答及び実施報告（相談連携事例報告・地域ケア会議報告・その他） 1 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がある 2 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がない、または回答が「2」で報告書の提出がある 3 回答が「2」で報告書の提出がない 4 回答が「3」 5 回答が「4」	100.0
エ. その他生活支援体制整備に関する取り組みについて。	自由 記載	東園域の協議体に参加し、センターの業務の取り組みや課題を紹介、周知した。		評価なし	
3 在宅医療・介護連携推進事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。[63]	2 1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。[64]	2 1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイのどちらか、又は両方が「1」の場合、参加した主な内容について。	内容 記載		1	記載された内容 1 事例検討会、講演会、勉強会等に複数回参加している 2 事例検討会、講演会、勉強会等に1回参加している 3 参加していない、または記載がない	100.0
エ. 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。[65]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 関係者に対する助言や連携支援、支援事例についての市との共有など、在宅医療と介護の連携を推進しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0
カ. 在宅医療・介護連携推進に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

4 家族介護者への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 家族介護者への支援のための取り組みを実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護者相互の情報交換、つながりができるように支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイが「1」の場合、取り組み内容について選択。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	3 1 1 1 1	←選択数（入力しない） 家族介護者リフレッシュ事業 茶話会等集いの場への支援 家族介護者相談会等の開催 家族介護者支援をテーマとした地域ケア会議の開催 仕事と介護の両立に関する情報提供 家族介護者に対するアセスメント・チェック票等の活用 その他（ ）	2	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	66.7
エ. その他家族介護者支援に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	
5 高齢者の見守り支援のための取り組みを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. ひとり暮らし高齢者の情報の更新を定期的に行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実績報告 1 回答が「1」で、年度当初の訪問対象×2回に対する継続登録者の訪問回数の割合が80%以上 2 回答が「1」で、上記割合が65～79% 3 回答が「1」で、上記割合が50～64% 4 回答が「1」で、上記割合が50%未満 5 回答が「2」	100.0
イ. ねたきり認知症高齢者の支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他見守り支援に関する取り組みについて。	自由記載	コロナ感染症の影響での外出自粛によるフレイルリスクや夏期間の熱中症予防のため、ひとり暮らし高齢者を対象とした介護予防普及啓発の電話がけやパンフレット配布に取り組んだ。登録高齢者の圏域地図を随時更新、心配がある方には定期訪問の他家族と連絡を取る等して関わった。		評価なし	

帯広市地域包括支援センター事業評価（令和2年度分）

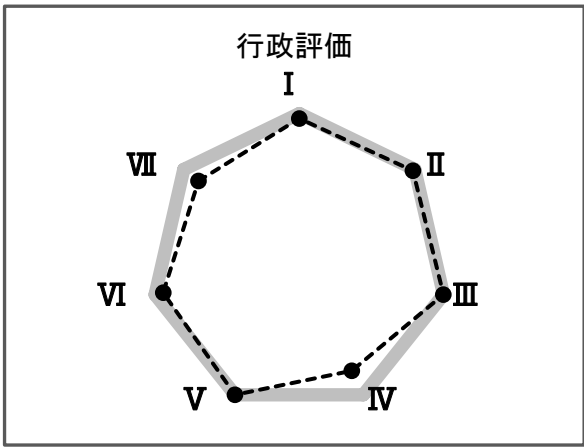
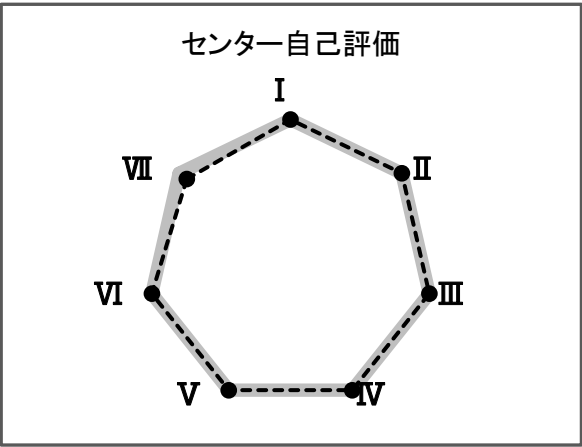
地域包括支援センター 帯広市社会福祉協議会

	センター 自己評価	行政評価
I 組織・運営体制にかかる基本的事項	100.0 %	96.7 %
II 総合相談支援業務	100.0 %	98.3 %
III 権利擁護業務	100.0 %	100.0 %
IV 包括的・継続的ケアマネジメント	100.0 %	82.0 %
V 地域ケア会議	100.0 %	100.0 %
VI 介護予防ケアマネジメント	100.0 %	94.4 % ↓
VII 事業間連携及び関連事業等	93.3 %	87.2 %

（参考 前年度）

センター 自己評価	行政評価
100.0%	98.6%
100.0%	98.3%
100.0%	100.0%
83.3%	78.1%
100.0%	100.0%
100.0%	100.0%
93.3%	87.4%

矢印（↑↓）は前年比5%以上の増減があった項目口



----- 評価結果 100%

※率の算出方法

【センター自己評価】

評価項目について、「よくできている」から「まったくできていない」の4段階で自己評価を実施し、「よくできている」を100%、「まったくできていない」を0%とし、I～VIIの大分類ごとに平均したもの。

【行政評価】

評価項目ごとに設定された各設問について、実施状況を基準に基づいて0%～100%で表し、項目ごとに平均し、さらにI～VIIの大分類ごとに平均したもの。

I 組織・運営体制にかかる基本的事項

項目1～6の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

96.7

評価指標【評価項目：6 根拠項目：33 （11）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域包括支援センターの事業計画が適切に作成され、計画に沿って取り組まれているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域包括支援センター事業実施方針の内容に沿って事業計画を策定しているか。[11]	1	1 はい 2 示された方針に沿って策定していない 3 示された方針の内容を理解できなかった 4 方針が示されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしているか。[15]	1	1 はい 2 いいえ	1	提出済みの事業計画書 1 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、それに対応する具体的な重点項目を定めている 2 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、具体的ではないが重点項目を定めている 3 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載が十分ではないが、重点項目を定めている 4 重点項目を定めていない	100.0
ウ. 事業計画の策定に当たって、市と協議し、指摘がある場合、これを反映しているか。[11-1] ※協議方法は問わない、記録が残されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 協議・指摘事項及び反映した内容について。	内容 記載	あらためてセンターの周知活動の取り組みの強化し、支援年とワークの構築を図る。圏域における地域課題を把握に努める。関係機関との連携体制構築に取り組む。	1	★記載された内容及び事業計画書 1 協議・指摘事項の記載があり反映した内容が事業計画書に盛り込まれている、協議の記載があるが指摘や修正事項がなかった 2 協議・指摘事項の記載があるが、反映した内容が事業計画書に盛り込まれていない 3 協議・指摘事項の記載がない	100.0
オ. 市の支援・指導の内容により逐次センターの業務改善が図られているか。[12]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 支援・指導内容及び業務改善の取り組みについて。	内容 記載	地域の介護支援専門員との連携を図り、地域の課題に努めている。 自立支援に向けて、前年指導があった包括的継続的ケアマネジメントの充実を図った。	1	記載された内容 1 支援・指導内容の記載があり、業務改善の複数の取り組みが記載されている 2 支援・指導内容の記載があるが、業務改善の取り組みの記載が少ない、または記載がない 3 支援・指導内容がなかった、または記載がない	100.0
キ. その他事業計画に関する取り組みについて。	自由 記載	事業計画策定するにあたり、前年度の取り組みを評価し圏域の課題を把握していく。コロナ禍において感染対策を講じ進めていく。		評価なし	
2 帯広市及び各地域包括支援センターと連携し業務を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市が設置する定期的な連絡会合に、毎回出席しているか。[13]	1	1 はい 2 設置されているが、出席しないことがある 3 定期的な連絡会議が設置されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 市各部署との連携を図っているか。	1	1 市民福祉部、その他必要な部署と連携している 2 市民福祉部以外は地域福祉課を通じ連携 3 主に市民福祉部との連携 4 地域福祉課以外は連携をとっていない	1	センターの回答の通り	100.0

ウ. 各職種、役割間で地域包括支援センター同士の情報共有や連携強化を図っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は () 内に内容を記載	6	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	100.0
	1	職種間の連携会議、打合せにおいて連携している			
	1	ケースの引継等において連携している			
	1	研修情報等の共有を行っている			
	1	事業の実施方法や最新情報等について共有を行っている			
	1	困難事例等ケース対応において情報共有等連携している			
	1	課題の共有や、解決にあたり情報共有等連携している			
		その他 ()			
エ. その他連携に関する取り組みについて。	自由記載	市とも連携し、感染対策をしてケアマネジメント会議を開催した。関係機関との連携を深めることができ、関係機関とのネットワークが広がることできた。		評価なし	
3 業務に必要な人員を確保し、職員の育成を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.2	各根拠項目の平均実施率で評価	80.0
ア. 三職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）を配置しているか。[16]	1	1 はい 2 いいえ	1	前年度の運営状況調査の包括的支援業務の人数 1 三職種が各1人以上で合計6.5人以上 2 三職種が各1人以上で合計5.5以上6.5人未満 3 合計が5.5人以上6.5人未満 4 合計が4.5人以上5.5人未満 5 合計が3.5人以上4.5人未満 6 合計が3.5人以下	100.0
イ. 各職種の専門性を生かせるよう自己研鑽及びセンター内での育成を行っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は () 内に内容を記載	4	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	各自研修参加や文献学習などで自己研鑽している			
	1	センター内で学習会など研修を実施している			
	1	センター内で各自の研修結果の共有を行っている			
		経験年数に応じ指導者を決めて育成を行っている			
		育成に関する方針や計画がありそれに沿って行っている			
	1	その他（資格取得の支援）			
ウ. 職場内研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	職場内の研修では、外部から薬剤師を招き、薬の基礎知識をはじめ、医療・介護連携についても理解を深めた。センター内での事例検討は随時行っており、支援について検討している。法定研修で得た知識は、その都度情報共有を行っている。	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
エ. センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を実施しているか。[18]	2	1 はい 2 いいえ	2	センターの回答の通り	0.0
オ. 職場外研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	職場外では帯広市介護支援専門員連絡協議会に入会し、職能団体主催の研修会への参加をしている(栄養士とケアマネつなごろう、ICTの活用・介護保険の改正)。市町連・社協主催の「地域福祉活動研修会」に参加し、支援ネットワーク構築について深めた。	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
カ. その他人員体制、職員の育成に関する取り組みについて。	自由記載	介護支援専門員の法定研修をはじめとし、実務経験年数に応じた研修会への参加を進め、資質向上に取り組んでいる。職種ごとに各々が職能レベルの研修に自主的に取り組んでいる。		評価なし	

4 個人情報保護の徹底を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 個人情報保護に関する常広市の取扱方針に従って、個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。[22] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 個人情報が漏えいした場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護の対応を各職員へ周知しているか。[23] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 個人情報保護に関する責任者（常勤）を配置しているか。[24]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 個人情報の持出・開示時は管理簿への記載と確認をするなど、盗難や紛失のないよう管理しているか。[25] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他個人情報保護に関する取り組みについて	自由記載	守秘義務の徹底に取り組んでおり、会議開催時に事前に説明をしている。		評価なし	
5 市民が利用しやすい相談体制となっているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センターの開設時間内は、何らかの形で職員が在席（やむを得ず不在時は転送電話などで対応）し、市民が利用しやすい体制をとっているか。	1	1 センター職員の不在時は他の職員の在席により対応している 2 職員不在時は転送電話により対応している 3 転送電話に出られない時があり、後でかけ直している 4 転送電話に出られない時があり、再度の連絡を待って対応している	1	センターの回答の通り	100.0
イ. パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。[21]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[19]	1	1 夜間・早朝の窓口を設置し周知している 2 夜間・早朝の窓口を設置しているが周知していない 3 夜間・早朝の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[20]	1	1 平日以外の窓口を設置し周知している 2 平日以外の窓口を設置しているが周知していない 3 平日以外の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 相談者のプライバシー確保に関する市の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。[28] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. その他相談体制に関する取り組みについて。	自由記載	相談室を準備し、プライバシーを配慮した環境を整備している。新型コロナウイルス感染予防の観点から、予防のビニールのセット、消毒、検温を行っている。24時間の連絡対応のための携帯電話がある。		評価なし	

6 利用者の満足度の向上について、地域包括支援センター内で体制を整備し努めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や対応策について記録しているか。[26] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 苦情内容及び対応について。 ※前年度において苦情がなかった場合は、過去の事案を記載	内容 記載	苦情を受ける窓口を設置しており、担当職員を配置している。苦情窓口は掲示の周知をしている。今年度は予防プランの定期訪問時に、聞き取りをした内容について、聞く必要がないことを聞いたとことが理由となり担当変更となった。	1	記載された内容 1 苦情内容及び適切で十分な対応策の記載がある 2 苦情内容及び十分とは言えないが対応策の記載がある 3 苦情内容及び対応策の記載がない	100.0
ウ. 苦情及び苦情につながる可能性のある事案について、職員間で検討・共有し、適切な再発防止対策をしているか。	1	1 苦情及び可能性のある事案の共有と対応策の検討を行い記録を残している 2 苦情及び可能性のある事案の共有と検討を行っているが記録していない 3 苦情があれば共有し対応策の検討を行っている 4 主に担当者のみが苦情に対応している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センターが受けた介護サービスに関する相談について、市に対し報告や協議を行う仕組みが設けられているか。[27]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他満足度の向上に関する取り組みについて	自由 記載	市民や利用者への説明が不十分であったり、行き違いがあった場合など、対応ややり取りの振り返りをする個別指導をしている。		評価なし	

Ⅱ 総合相談支援業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

98.3

評価指標【評価項目：3 根拠項目：18 (6)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域支援ネットワークの構築を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.2	各根拠項目の平均実施率で評価	95.0
ア. 担当地域の団体等と積極的に連携を図っているか。	1	1 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門、その他の関係団体と連携を図っている 2 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門の関係団体と連携を図っている 3 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロン又は高齢者部門の関係団体と連携を図っている 4 積極的には連携を図っていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。[29] ※介護サービス事業者・医療機関・民生委員の情報 ※データ・紙面で整備され、見直しもしている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	ヒアリング状況 1 圏域内の関係機関の情報について、マップ及びリストで管理し提出できる 2 圏域内の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理している 3 一部の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理し提出できる 4 特にマップ又はリストによる管理をしていない	100.0
ウ. ボランティア活動の支援や、ボランティア活動への参画を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. ウが「1」の場合、具体的な支援内容について。	内容 記載	地域支え合い推進員と連携し、協議体を通じて支え合いについての周知に取り組んだ。住民や地域の有志が主体的に取り組まれた「集団ウォーキング」では、地域支え合い推進員と協働で一部運営に協力した。	1	記載された内容 1 実効性のある具体的な支援内容が複数記載されている 2 支援内容が記載されている 3 支援には至っていないが、準備段階として情報収集、関係作り等記載されている 4 行っていない、または記載がない	100.0
オ. 地域住民、関係機関に介護予防や地域包括ケアシステム構築等の普及啓発を進めているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は （ ）内に内容を記載	4 1 1 1 1 その他（ ）	←選択数（入力しない） 年度当初に講座等のメニューを設定している 年度において重点的に実施するテーマを設定している 地域・関係者の会合などにおいて普及啓発について周知している ちらし・HPなどで普及啓発について周知している 地域住民・関係機関からの依頼に応じ実施している 実施後何らかの手段で結果を周知・公表している その他（ ）	2	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	75.0
カ. その他地域支援ネットワーク構築に関する取り組みについて。	自由 記載	コロナ禍において、サロン他の活動がほとんどなかった。臨時開催されたサロンに顔出しをし、フレイル予防などコロナ禍においてできる普及啓発を行った。 「地域福祉活動研修」の講師との意見交換より支援ネットワーク構築の課題などを共有した。		評価なし	

2 相談内容の把握、分析を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 的確な状況把握を行い、専門的・継続的な関与または、緊急対応の必要性を判断しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. ワンストップサービスの拠点として情報提供、他機関等の紹介及びつなぐ支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 相談事例の終結条件を市と共有しているか。[30]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 相談事例の分類方法を、市と共有しているか。[31]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 1 年間の相談事例の件数を市に報告しているか。[32]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 他のセンターと比較し、相談件数及び相談内容の特徴等について。 ※地域包括支援センター運営協議会資料、連絡会議資料等を参考	内容 記載	コロナ禍ではあるものの、総合相談やケアプラン相談は横ばいで推移しており、それらに対応できるようサービス提供体制を整えている。ひとり暮らし高齢者や低所得者も多く、支援の内容が多岐に渡っている。困難ケース・虐待ケースなど市の担当部署と連携して支援する事例が増えている。	1	記載された内容 1 相談内容の特徴について、担当圏域の現状も踏まえ分析し具体的に記載されている 2 相談内容の特徴について分析し具体的に記載されている 3 相談内容の特徴について分析し、具体的ではないが記載されている 4 分析していない、または記載がない	100.0
キ. 相談内容の把握、分析に関する取り組みについて。	自由 記載	川北圏域への相談も多く、認知症高齢者世帯や身寄りのない高齢者の相談が多い。金銭問題や住居に関する相談が多くなっている。		評価なし	
3 複合的な課題を持つ世帯等への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。[34]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護、子育て、障がい等複合的な課題を持つ世帯への相談対応を行っているか。[35] ※あてはまるものに「1」を入力。ただし、「特に対応していない」に「1」を入力する場合は1つだけ選択する。	1 1 その他（ ） 特に対応していない	市町村や他分野の相談機関と協議しつつ、対応している。 相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容を把握するようにしている。	1	選択数 1 2 個以上 2 1 個 3 特に対応していないを選択	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容 記載	80代と50代の親子。母親は要支援認定を受けており、50代娘は精神疾患を持っている。親子二人での生活が難しい状況である。娘は入退院を繰り返しており、病状が安定してなく、収入もないことから、医療機関・生活支援課・介護高齢福祉課など関係各所と連携し、今後の生活について検討している。会議開催も調整中。	1	記載された内容 1 複合的な課題及び対応について具体的に記載されている 2 複合的な課題及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. 相談事例の解決のために、市への支援を要請し、その要請に対し市から支援があったか。[33]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他、複合的な課題を持つ世帯等への支援に関する取り組みについて。	自由 記載	高齢者本人を含む家族が一緒に暮らしている。息子は白血病、その他家族が同居している。金銭的に困窮している。また、犬のフリーダーをしており、家の中に犬が多数おり、世話も十分にできていない。関係機関と連携して状況を確認している。		評価なし	

Ⅲ 権利擁護業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：3 根拠項目：13 (5)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 成年後見制度の活用を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 成年後見制度の市町村申立てに関する判断基準について、市から共有されているか。[36]	1	1 共有されており、申し立て支援も複数ある 2 共有されており、申し立て支援が1件又は申し立てまでの相談対応は実施したが申し立て支援は0件 3 共有されているが、申し立てまでの相談対応及び支援はなかった 4 共有されていない	1	センターの回答のとおり	100.0
イ. 帯広市成年後見支援センターと連携し支援にあたっているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容 記載	ひとり暮らしで、身寄りがいない。近隣の知人が面倒をみてくれていたが、認知症が進み、身の回りの支援が必要になった。法定後見申し立てにつながるよう連携をして支援を進めた。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. その他成年後見制度の活用に関する取り組みについて。	自由 記載	相談に応じて、必要な支援に結びつくように情報提供している。申し立て支援がスムーズに行くよう、病院など関係機関と連携している。		評価なし	
2 関係機関と連携し高齢者虐待事例、困難事例に速やかに対応しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市と共有しているか。[38]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センターまたは市が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。[39]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 困難事例や課題の残った事例、連携が困難又は成功した事例等について、市と共有しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0

エ. センター内で事例の共有及び支援を円滑にするための体制をとっているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	5	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	事例の担当者が関係機関と連携し対応している			
	1	センター内で事例の共有や検討を行っている			
	1	センター内で報告会や事例検討会等を行っている			
	1	副担当を決めるなど複数で対応している			
	1	管理者等に随時報告や相談を行い対応している			
		その他			
オ. その他虐待防止・困難事例等に関する取り組みについて。	自由記載	相談内容に応じ、関係機関と連携を図り、対応を検討している。		評価なし	
3 消費者被害の未然防止、早期発見、支援等を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。[29] ※相談の記録がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. アが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	認知症のひとり暮らし。健康食品を大量に購入してしまった。消費者センターと連携を取り対応を相談した。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
ウ. 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。[30] ※少なくとも民生委員に情報提供し、その内容がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. その他消費者被害防止に関する取り組みについて。	自由記載	警察署や消費やセンターに出向いて、情報収集をしている。外に出向いての啓発はできなかったが、広報誌での周知を行った。		評価なし	

Ⅳ 包括的・継続的ケアマネジメント 項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

82.0

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (4)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築のため様々な社会資源の活用ができるよう地域の体制整備を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.1	各根拠項目の平均実施率で評価	95.2
ア. 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握しているか。[42] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 おおむねほとんど把握しており、データまたは紙面で管理している 2 一部把握しており、データまたは紙面で管理している 3 把握しているが、データまたは紙面で管理していない 4 特に把握していない	100.0
イ. 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。[44]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び地域ケア会議等報告書 1 事例検討会又は個別ケア会議を複数回開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 2 事例検討会又は個別ケア会議を開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 3 事例検討会又は個別ケア会議を開催しているが、ニーズや課題の記載がない 4 開催していない	100.0
ウ. 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。[45] ※主催は問わない、地域ケア会議は含まない	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ.ウが「1」の場合、具体的な内容について	内容 記載	介護支援専門員のニーズをもとに、ケアマネジメント支援会議を通じて自立に資するケアマネジメントを深めた。また、介護支援専門員対象の研修を開催し、認知症高齢者の支援事例を通じて、市の認知症事業やその活用に向けて周知した。	2	1 介護支援専門員のニーズについて記載があり、複数の取り組みの記載がある 2 介護支援専門員のニーズについて記載があり、取り組みの記載がある 3 介護支援専門員のニーズについて記載がないが、何らかの取り組みの記載がある 4 介護支援専門員のニーズ及び取り組みの記載がない	66.7
オ. 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。[46]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び普及啓発の報告書 1 日常的に実施しており、10回以上実施している 2 依頼に応じ実施しており、5～9回実施している 3 依頼に応じ実施しており、1～4回実施している 4 依頼がなく実施していない	100.0

カ. 関係機関と介護支援専門員との連携体制及び、介護支援専門員同士の連携体制の構築を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. カが「1」の場合、具体的内容について。	内容 記載	ケアマネジャー向けの研修会を行い、今年度は認知症初期集中支援チームなどの利用について学んでもらった。ケアマネジメント支援会議では2事例行い、他者の支援事例にも触れながら意見交換を行っている。	1	記載された内容 1 関係機関との連携及び、介護支援専門員同士意見交換や情報共有ができる場の設定など相談しやすい環境づくりを行っている 2 関係機関との連携及び、地域包括支援センターと意見交換や情報共有ができる場の設定などを行っている 3 相談事例において必要な連携を図り体制構築を支援している 4 支援していない、または記載がない	100.0
ク. その他ケアマネジメントのための体制整備に関する取り組みについて。	自由 記載	ケアマネジメントの質の向上に加え、市の認知症事業の理解も同時に理解してもらうよう取り組んだ。		評価なし	
2 介護支援専門員に対する支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.5	各根拠項目の平均実施率で評価	68.8
ア. 支援困難な事例等への対応等個々の介護支援専門員へのサポートを行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。[47] ※整理・分類と経年的把握を行っている場合「はい」	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。[43] ※データ・紙面で提供している場合「はい」とする	2	1 はい 2 いいえ	2	センターの回答の通り	0.0
エ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等を開催しているか。	2	1 センター単独で定期的に開催した 2 センター単独で必要に応じ開催した 3 センター単独では開催がなく、合同企画で開催した 4 開催しなかった	2	センターの回答及び普及啓発等の報告書 1 回答が「1」で、計画的に介護支援専門員に周知し、複数回実施している 2 回答が「2」で、複数回実施している 3 回答が「2」で、実施している 4 回答が「3」 5 回答が「4」	75.0
オ. その他介護支援専門員への支援に関する取り組みについて。	自由 記載	困難事例の相談に応じて対応している。地域のケアマネジャーに対して認知症についての研修会を行った。		評価なし	

V 地域ケア会議

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域ケア会議の目的、機能を理解し推進しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域ケア会議体系図及びマニュアルに沿って地域ケア会議を実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。[49] ※データ・紙面で周知している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 運営方針がデータまたは書面で整備されており、周知している 2 会議案内等への記載により、周知している 3 口頭で周知している 4 特に周知していない	100.0
ウ. 地域ケア会議の開催に当たり、参加者に対し丁寧な事前説明を行っているか。	1	1 おおむね訪問して説明し文書を用いて参加依頼している 2 電話と文書で説明し、参加依頼している 3 電話又は文書で説明し、参加依頼している 4 特に説明はせず、電話又は文書で参加依頼している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。[55] ※データ・紙面で共有している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他地域ケア会議の開催に当たっての取り組みについて。	自由 記載	ケアマネジメント支援会議については、圏域医療系サービス事業者の協力を得ながら、介護支援専門員と改めて自立支援について考える機会とするとともに、医療介護推進にも同時に取り組むように支援した。		評価なし	
2 地域ケア会議の積み重ねを行い、圏域の課題抽出及び整理を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。[50]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実施回数 1 個別ケア会議（事例検討を行うケア会議を含む）を6回以上開催している 2 4～5回開催している 3 1～3回開催している 4 開催していない	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。[53] ※対応策とは、課題の明確化・目標の確認・優先順位の確認・支援や対応の確認・モニタリング方法の決定などを言う	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びケア会議報告書 1 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定があり、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 2 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定はなかったが、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 3 回答が「1」だが、自立支援・重度化防止等の対応策について報告書に記載がない 4 回答が「2」	100.0

ウ. 市から示された地域ケア会議における個人情報情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。 [54]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。[56] ※モニタリングが必要とされた事例は全て実施している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、前年度のモニタリング実施件数（地域ケア会議の実施年度は問わない）と主な方法について。	内容 記載	3件。支援の状況や進捗などについてコロナ禍につき担当者より聴取しながら、センターとしてもフォローしている。あらためての会議等は行わず制度等を活用した支援につながっているか把握するようにしている。	1	記載された内容 1 複数の事例でモニタリングを行い、具体的に実効性のある方法が記載されている 2 複数の事例でモニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 3 モニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 4 モニタリングを行っていない、または記載がない	100.0
カ. センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。[51]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市に報告しているか。[57]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答のとおり ※H31からは圏域の課題整理結果も対象	100.0
ク. その他地域課題の整理に関する取り組みについて。	自由 記載	地域ケア会議だけではなく日常的に寄せられる総合相談や地域ケア会議で取り扱うことが難しい事例（困難事例）なども含めて検証し、地域の課題を把握するようにしている。		評価なし	

VI 介護予防ケアマネジメント

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

94.4

評価指標【評価項目：1 根拠項目：11 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 本人主体の自立支援に資するケアマネジメントを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 介護予防ケアマネジメントのマニュアルに沿って支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用しているか。[60]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、心身の機能改善だけでなく、生きがいや役割を持って生活できるよう支援しているか。	1	1 興味・関心チェックシート等を活用し、活動や参加のための取り組みをケアプランに位置付けている 2 活動や参加のための取り組みをケアプランに位置付けている 3 活動や参加のための取り組みはあまりケアプランに位置付けていない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。[59]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、地域の社会資源を活用した事例の概要及び対応について。	内容 記載	民間のサービスや地域活動への参加をプランに位置づけている。	1	記載された内容 1 社会資源の活用について具体的な記載があり、効果的なケアマネジメントを行っている 2 社会資源の活用について記載があり、ケアマネジメントを行っている 3 社会資源の活用がない、または記載されていない	100.0
カ. 総合事業のサービス提供事業所、関係者等と連携を図っているか。	1	1 市主催の連絡会議等の参加のほか、利用者の相談、情報共有、地域ケア会議の参集等で連携を図っている 2 市主催の連絡会議等の参加のほか、時々連携を図っている 3 主に市主催の連絡会議等の参加により連携を図っている 4 特に連携していない	1	センターの回答の通り ※H31からは報告書も対象	100.0
キ. その他、介護予防ケアマネジメントに関する取り組みについて。	自由 記載	対象者が行えていることを継続していけるように自立支援に着目した目標をたてられるようにする。		評価なし	

2 介護予防ケアマネジメント等の委託を適正に行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。[62]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。[58]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 委託先の居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアプランの作成ができるよう、支援しているか。	2	1 地域ケア会議での検討及び総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 2 地域ケア会議での検討又は総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 3 ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 4 特に支援はしていない	2	センターの回答の通り	66.7
エ. その他介護予防ケアマネジメント等の委託に関する取り組みについて	自由記載	居宅介護支援事業所と常日頃より連携し、委託しやすい関係作りをしている。自立に向けた介護予防ケアマネジメントを行っている。ケアマネジメント支援会議にて、自立支援について考える機会提供に取り組んでいる。		評価なし	

VII 事業間連携及び関連事業等

項目1～5の回答の平均（★）→

1.2

（★）を実施率（％）で表示 →

93.3

行政評価を実施率（％）で表示 →

87.2

評価指標【評価項目：5 根拠項目：28（7）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 正しい知識の普及や相談支援等、認知症高齢者が地域で安心して暮らせるよう見守り体制の構築をしているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	2.3	各根拠項目の平均実施率で評価	66.7
ア. 独自企画、または地域からの依頼で認知症サポーター養成講座を実施しているか。	2	1 地域、市からの依頼に加え、独自企画やターゲットを決めるなど地域への働きかけにより実施している 2 地域、市からの依頼があり、複数回実施している 3 市からの依頼で実施している 4 実施していない	2	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が7回以上 2 回答が1で実施回数が5回以上、回答が2で実施回数が7回以上 3 回答が2で実施回数が7回未満、回答が3で実施回数が7回以上 4 回答が3で実施回数が7回未満 5 回答が4	75.0
イ. 行方不明高齢者の捜索や見守りの模擬訓練等を実施し、その後の取り組みにつなげているか。	3	1 人材発掘や活用、地域の取り組みにつながった（予定含む） 2 実施したが人材発掘や取り組みにはつながらなかった 3 検討したが、実施に至らなかった 4 検討及び実施をしなかった	4	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が複数回 2 回答が1で実施回数が1回、回答が2で実施回数が複数回 3 回答が2で実施回数が1回 4 回答が3 5 回答が4	25.0
ウ. 認知症高齢者とその家族への支援を行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 行方不明やそのおそれのある高齢者への支援をしているか。	2	1 必要な医療・介護のサービスにつなげ、地域の見守り体制の充実に向けた支援を行っている 2 必要な医療・介護のサービスにつなげるなどの支援を行っている 3 支援は行ったが、必要なサービスにつなげていない 4 特に支援は行っていない	2	センターの回答の通り	66.7
オ. 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。[66]	1	1 はい 2 いいえ	2	センターの回答及び認知症初期集中支援チームの対象者数 1 情報共有を図り、対象者数が5件以上 2 情報共有を図り、対象者数が3～4件 3 情報共有を図り、対象者数が1～2件 4 情報共有を図っていない、または対象者がいなかった	66.7
カ. 地域住民や関係機関に対し認知症に関する正しい知識を普及しているか。	2	1 地域住民への出前講座及び地域ケア会議での周知を複数回実施するほか、関係機関への学習会や講話等を実施した 2 何らかの方法で地域住民への周知を実施するほか、関係機関への学習会や講話等を実施した 3 何らかの方法で地域住民への周知又は関係機関への学習会や講話等を実施した 4 特に実施していない	2	センターの回答の通り	66.7
キ. 認知症サポーター等、認知症の人や家族を支援する人材の発掘及び活動支援につながる取り組みを実施しているか。	2	1 複数の取り組みを実施した 2 何らかの取り組みを実施した 3 実施に至らなかったが、準備又は検討を実施した 4 特に実施しなかった	2	センターの回答の通り	66.7
ク. キが「1」「2」「3」の場合、具体的な取り組みについて	内容 記載	認知症サポーター養成講座や認知症初期集中支援チームでの支援	3	1 更なる学習機会及び場の提供の実施のほか、実際に活動につながった事例があり、複数の取り組みの記載がある 2 実際に活動につながった事例があり、複数の取り組みの記載がある 3 活動につながる見込みがある事例があり、何らかの取り組みの記載がある 4 何らかの取り組みの記載がある 5 キが「4」又は、取り組みの記載がない	50.0
ケ. その他見守り体制の構築の取り組みについて。	自由 記載	ひとり暮らし高齢者に対する支援。認知症高齢者に対する支援。ＳＯＳネットワークへの協力。		評価なし	

2 生活支援体制整備事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.7	各根拠項目の平均実施率で評価	80.6
ア. 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。[67]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 生活支援コーディネーター、地域支え合い推進員と連携を図っているか。	2	1 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は日常的に実施している 2 自法人の推進員とは日常的に連携し、その他は時々連携している 3 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は少ない 4 ほとんど連携していない	2	センターの回答の通り	66.7
ウ. イが「1・2」の場合、連携の具体的な内容や成果について。	2	1 地域ケア会議、協議体等の連携により、実際に地域課題の解決策を講じている 2 地域ケア会議、協議体等の連携により、地域課題の共有及び解決策の検討を行っている 3 地域ケア会議、協議体、事業への同行等の連携を行っている 4 ほとんど連携していない	2	センターの回答及び実施報告（相談連携事例報告・地域ケア会議報告・その他） 1 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がある 2 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がない、または回答が「2」で報告書の提出がある 3 回答が「2」で報告書の提出がない 4 回答が「3」 5 回答が「4」	75.0
エ. その他生活支援体制整備に関する取り組みについて。	自由記載	協議体でかわった地域などで、コロナ禍で住民の交流が少なくなることから「集団ワーキング」が住民主体で開催されることとなった。センターでは介護予防や特殊詐欺被害防止の注意喚起を通じて、住民同士のつながりづくりに支え合い推進員と連携して取り組んだ。		評価なし	
3 在宅医療・介護連携推進事業に協力しているか。	2	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。[63]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。[64]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイのどちらか、又は両方が「1」の場合、参加した主な内容について。	内容記載	「医療・介護サービスを一体的に提供するための相談窓口における連携支援会議」、「帯広市在宅医療・介護ネットワーク会議」に参加。ケアマネジメント支援会議に医療職を招集し、自立に資するケアマネジメントへのアドバイザーを担ってもらった。	1	記載された内容 1 事例検討会、講演会、勉強会等に複数回参加している 2 事例検討会、講演会、勉強会等に1回参加している 3 参加していない、または記載がない	100.0
エ. 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。[65]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 関係者に対する助言や連携支援、支援事例についての市との共有など、在宅医療と介護の連携を推進しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0
カ. 在宅医療・介護連携推進に関する取り組みについて。	自由記載	医療機関等との連携報告事例を市と共有し、医療介護連携の課題把握に取り組んだ。日頃の業務を通じて、医療機関との連携が以前より図れるようになった。「帯広市在宅医療・介護ネットワーク会議」に参加し、顔の見える関係構築に取り組んだ。		評価なし	

4 家族介護者への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 家族介護者への支援のための取り組みを実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護者相互の情報交換、つながりができるように支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイが「1」の場合、取り組み内容について選択。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は () 内に内容を記載	3 1 1 1 1 1 1 1	←選択数（入力しない） 家族介護者リフレッシュ事業 茶話会等集いの場への支援 家族介護者相談会等の開催 家族介護者支援をテーマとした地域ケア会議の開催 仕事と介護の両立に関する情報提供 家族介護者に対するアセスメント・チェック票等の活用 その他	2	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	66.7
エ. その他家族介護者支援に関する取り組みについて。	自由 記載	家族介護者リフレッシュ事業はコロナ禍で開催について感染対策を講じ、会食は避けての開催とした。		評価なし	
5 高齢者の見守り支援のための取り組みを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. ひとり暮らし高齢者の情報の更新を定期的に行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実績報告 1 回答が「1」で、年度当初の訪問対象×2回に対する継続登録者の訪問回数の割合が80%以上 2 回答が「1」で、上記割合が65～79% 3 回答が「1」で、上記割合が50～64% 4 回答が「1」で、上記割合が50%未満 5 回答が「2」	100.0
イ. ねたきり認知症高齢者の支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他見守り支援に関する取り組みについて。	自由 記載	市からの情報や担当 C Mからの相談を受けて対応している。		評価なし	

帯広市地域包括支援センター事業評価（令和2年度分）

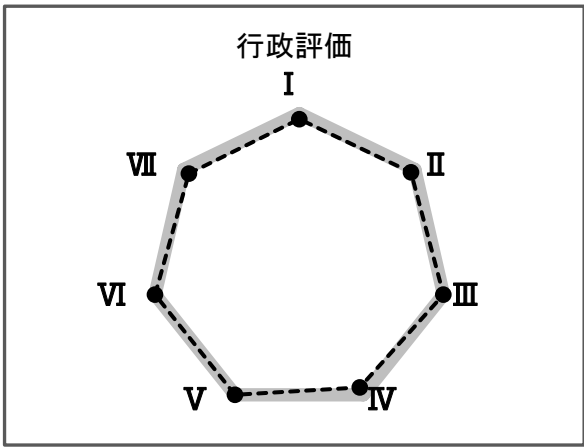
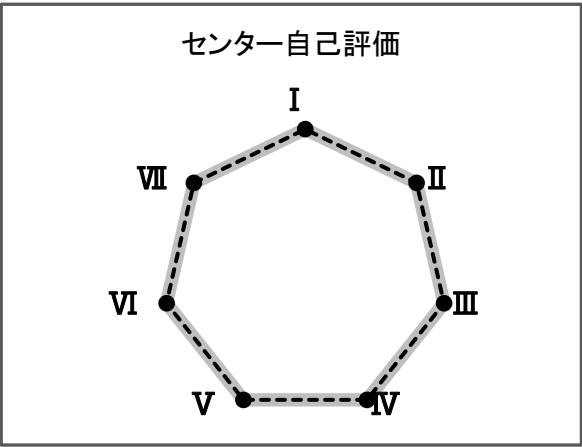
地域包括支援センター 愛仁園

	センター 自己評価	行政評価
I 組織・運営体制にかかる基本的事項	100.0 %	96.3 %
II 総合相談支援業務	100.0 %	100.0 %
III 権利擁護業務	100.0 %	100.0 %
IV 包括的・継続的ケアマネジメント	100.0 %	100.0 %
V 地域ケア会議	100.0 %	100.0 %
VI 介護予防ケアマネジメント	100.0 %	94.4 % ↓
VII 事業間連携及び関連事業等	100.0 %	95.5 % ↑

（参考 前年度）

センター 自己評価	行政評価
94.4%	96.8%
100.0%	100.0%
100.0%	96.3%
100.0%	100.0%
100.0%	100.0%
100.0%	100.0%
93.3%	85.5%

矢印（↑↓）は前年比5%以上の増減があった項目口



----- 評価結果 100%

※率の算出方法

【センター自己評価】

評価項目について、「よくできている」から「まったくできていない」の4段階で自己評価を実施し、「よくできている」を100%、「まったくできていない」を0%とし、I～VIIの大分類ごとに平均したもの。

【行政評価】

評価項目ごとに設定された各設問について、実施状況を基準に基づいて0%～100%で表し、項目ごとに平均し、さらにI～VIIの大分類ごとに平均したもの。

I 組織・運営体制にかかる基本的事

項目1～6の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

96.3

評価指標【評価項目：6 根拠項目：33 （11）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域包括支援センターの事業計画が適切に作成され、計画に沿って取り組まれているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域包括支援センター事業実施方針の内容に沿って事業計画を策定しているか。[11]	1	1 はい 2 示された方針に沿って策定していない 3 示された方針の内容を理解できなかった 4 方針が示されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしているか。[15]	1	1 はい 2 いいえ	1	提出済みの事業計画書 1 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、それに対応する具体的な重点項目を定めている 2 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、具体的ではないが重点項目を定めている 3 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載が十分ではないが、重点項目を定めている 4 重点項目を定めていない	100.0
ウ. 事業計画の策定に当たって、市と協議し、指摘がある場合、これを反映しているか。[11-1] ※協議方法は問わない、記録が残されている場合はいとする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 協議・指摘事項及び反映した内容について。	内容 記載	帯広市地域包括支援センター事業実施方針について協議し、代表者会議で共有した。内容については特に指摘はなかった。	1	★記載された内容及び事業計画書 1 協議・指摘事項の記載があり反映した内容が事業計画書に盛り込まれている、協議の記載があるが指摘や修正事項がなかった 2 協議・指摘事項の記載があるが、反映した内容が事業計画書に盛り込まれていない 3 協議・指摘事項の記載がない	100.0
オ. 市の支援・指導の内容により逐次センターの業務改善が図られているか。[12]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 支援・指導内容及び業務改善の取り組みについて。	内容 記載	新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて、日頃の業務及び事業について柔軟に取り組んだ。	1	記載された内容 1 支援・指導内容の記載があり、業務改善の複数の取り組みが記載されている 2 支援・指導内容の記載があるが、業務改善の取り組みの記載が少ない、または記載がない 3 支援・指導内容がなかった、または記載がない	100.0
キ. その他事業計画に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	
2 帯広市及び各地域包括支援センターと連携し業務を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.7	各根拠項目の平均実施率で評価	77.8
ア. 市が設置する定期的な連絡会合に、毎回出席しているか。[13]	1	1 はい 2 設置されているが、出席しないことがある 3 定期的な連絡会議が設置されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 市各部署との連携を図っているか。	2	1 市民福祉部、その他必要な部署と連携している 2 市民福祉部以外は地域福祉課を通じ連携 3 主に市民福祉部との連携 4 地域福祉課以外は連携をとっていない	2	センターの回答の通り	66.7

ウ. 各職種、役割間で地域包括支援センター同士の情報共有や連携強化を図っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	4	←選択数（入力しない）	2	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	66.7
	1	職種間の連携会議、打合せにおいて連携している			
	1	ケースの引継等において連携している			
		研修情報等の共有を行っている			
	1	事業の実施方法や最新情報等について共有を行っている			
	1	困難事例等ケース対応において情報共有等連携している			
		課題の共有や、解決にあたり情報共有等連携している			
		その他（ ）			
エ. その他連携に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	
3 業務に必要な人員を確保し、職員の育成を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 三職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）を配置しているか。[16]	1	1 はい 2 いいえ	1	前年度の運営状況調査の包括的支援業務の人数 1 三職種が各1人以上で合計6.5人以上 2 三職種が各1人以上で合計5.5以上6.5人未満 3 合計が5.5人以上6.5人未満 4 合計が4.5人以上5.5人未満 5 合計が3.5人以上4.5人未満 6 合計が3.5人以下	100.0
イ. 各職種の専門性を生かせるよう自己研鑽及びセンター内での育成を行っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	5	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	各自研修参加や文献学習などで自己研鑽している			
	1	センター内で学習会など研修を実施している			
	1	センター内で各自の研修結果の共有を行っている			
	1	経験年数に応じ指導者を決めて育成を行っている			
	1	育成に関する方針や計画がありそれに沿って行っている			
		その他（ ）			
ウ. 職場内研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	事例検討会やテーマ別勉強会を行っている。内容としては主に包括支援センターの各専門職の業務について深堀している。（例：権利擁護について、地域ケア会議と地域づくり、認知症初期集中支援チームについてなど）	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
エ. センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を実施しているか。[18]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 職場外研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	○主任介護支援専門員ケアマネジメント研修会「①アセスメントとニーズ把握について②モニタリングと支援経過記録について」○地域包括ケアセミナー「地域包括・在宅介護支援センターに求められる在宅医療・介護連携」○権利擁護セミナー「本質から考える、コロナ禍と権利擁護」	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
カ. その他人員体制、職員の育成に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	

4 個人情報保護の徹底を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 個人情報保護に関する帯広市の取扱方針に従って、個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。[22] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 個人情報が漏えいした場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護の対応を各職員へ周知しているか。[23] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 個人情報保護に関する責任者（常勤）を配置しているか。[24]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 個人情報の持出・開示時は管理簿への記載と確認をするなど、盗難や紛失のないよう管理しているか。[25] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他個人情報保護に関する取り組みについて	自由記載			評価なし	
5 市民が利用しやすい相談体制となっているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センターの開設時間内は、何らかの形で職員が在席（やむを得ず不在時は転送電話などで対応）し、市民が利用しやすい体制をとっているか。	1	1 センター職員の不在時は他の職員の在席により対応している 2 職員不在時は転送電話により対応している 3 転送電話に出られない時があり、後でかけ直している 4 転送電話に出られない時があり、再度の連絡を待って対応している	1	センターの回答の通り	100.0
イ. パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。[21]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[19]	1	1 夜間・早朝の窓口を設置し周知している 2 夜間・早朝の窓口を設置しているが周知していない 3 夜間・早朝の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[20]	1	1 平日以外の窓口を設置し周知している 2 平日以外の窓口を設置しているが周知していない 3 平日以外の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 相談者のプライバシー確保に関する市の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。[28] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. その他相談体制に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	

6 利用者の満足度の向上について、地域包括支援センター内で体制を整備し努めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や対応策について記録しているか。[26] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 苦情内容及び対応について。 ※前年度において苦情がなかった場合は、過去の事案を記載	内容記載	本人よりケアマネジャーの契約解除通知がFAXで送られてきた。上司及び介護高齢福祉課に経過報告し相談しながら対応。家族が希望する居宅介護支援事業所とも情報共有し、区分変更の結果、要介護状態と認定され決着した。	1	記載された内容 1 苦情内容及び適切で十分な対応策の記載がある 2 苦情内容及び十分とは言えないが対応策の記載がある 3 苦情内容及び対応策の記載がない	100.0
ウ. 苦情及び苦情につながる可能性のある事案について、職員間で検討・共有し、適切な再発防止対策をしているか。	1	1 苦情及び可能性のある事案の共有と対応策の検討を行い記録を残している 2 苦情及び可能性のある事案の共有と検討を行っているが記録していない 3 苦情があれば共有し対応策の検討を行っている 4 主に担当者のみが苦情に対応している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センターが受けた介護サービスに関する相談について、市に対し報告や協議を行う仕組みが設けられているか。[27]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他満足度の向上に関する取り組みについて	自由記載			評価なし	

Ⅱ 総合相談支援業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：3 根拠項目：18 (6)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域支援ネットワークの構築を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 担当地域の団体等と積極的に連携を図っているか。	1	1 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門、その他の関係団体と連携を図っている 2 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門の関係団体と連携を図っている 3 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロン又は高齢者部門の関係団体と連携を図っている 4 積極的には連携を図っていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。[29] ※介護サービス事業者・医療機関・民生委員の情報※データ・紙面で整備され、見直しもしている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	ヒアリング状況 1 圏域内の関係機関の情報について、マップ及びリストで管理し提出できる 2 圏域内の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理している 3 一部の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理し提出できる 4 特にマップ又はリストによる管理をしていない	100.0
ウ. ボランティア活動の支援や、ボランティア活動への参画を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. ウが「1」の場合、具体的な支援内容について。	内容 記載	新型コロナウイルス感染症のため、集まての活動ができないが、メンバー向けの情報を発信したいとの自主グループの希望を受け、無料でコピーを承っている。コロナ禍でも活動が継続していることを支持しており、活動団体ごとに担当を決め、相談体制を整えている。	1	記載された内容 1 実効性のある具体的な支援内容が複数記載されている 2 支援内容が記載されている 3 支援には至っていないが、準備段階として情報収集、関係作り等記載されている 4 行っていない、または記載がない	100.0
オ. 地域住民、関係機関に介護予防や地域包括ケアシステム構築等の普及啓発を進めているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は （ ）内に内容を記載	6 1 1 1 1 1 1 1 その他（ ）	←選択数（入力しない） 1 年度当初に講座等のメニューを設定している 1 年度において重点的に実施するテーマを設定している 1 地域・関係者の会合などにおいて普及啓発について周知している 1 ちらし・HPなどで普及啓発について周知している 1 地域住民・関係機関からの依頼に応じ実施している 1 実施後何らかの手段で結果を周知・公表している その他（ ）	1	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	100.0
カ. その他地域支援ネットワーク構築に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

2 相談内容の把握、分析を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 的確な状況把握を行い、専門的・継続的な関与または、緊急対応の必要性を判断しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. ワンストップサービスの拠点として情報提供、他機関等の紹介及びつなぐ支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 相談事例の終結条件を市と共有しているか。[30]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 相談事例の分類方法を、市と共有しているか。[31]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 1年間の相談事例の件数を市に報告しているか。[32]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 他のセンターと比較し、相談件数及び相談内容の特徴等について。 ※地域包括支援センター運営協議会資料、連絡会議資料等を参考	内容記載	他センターと比較すると、自立から要支援・要介護認定者まで相談対象者の範囲がまんべんなく多い。また、相談内容も介護予防に関することや医療・健康相談の件数が多く、このことが地域活動支援の参加人数に大きく影響していると分析している。	1	記載された内容 1 相談内容の特徴について、担当圏域の現状も踏まえ分析し具体的に記載されている 2 相談内容の特徴について分析し具体的に記載されている 3 相談内容の特徴について分析し、具体的ではないが記載されている 4 分析していない、または記載がない	100.0
キ. 相談内容の把握、分析に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	
3 複合的な課題を持つ世帯等への支援を行っているか。		1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.0	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。[34]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護、子育て、障がい等複合的な課題を持つ世帯への相談対応を行っているか。[35] ※あてはまるものに「1」を入力。ただし、「特に対応していない」に「1」を入力する場合は1つだけ選択する。	1 1 その他（ ） 特に対応していない	市町村や他分野の相談機関と協議しつつ、対応している 相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容を把握するようにしている その他（ ） 特に対応していない	1	選択数 1 2個以上 2 1個 3 特に対応していないを選択	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	90歳代女性と60歳代女性の親子。市内で転居したが片づけられず引越しの荷物の山の中で暮らしている。本人両下肢リンパ浮腫がひどく、認知力の低下もあり適切な処置ができない。娘さんは精神疾患ありほぼ寝て過っており、公共料金の滞納が続いている。生活全体の立て直しが必要で、生活支援課・介護高齢福祉課や医療機関・居宅介護支援事業所と連携し、介護サービスにつながった。課題として金銭管理に関する支援も残されているが、本人・娘さんと相談しながら徐々に進めている。	1	記載された内容 1 複合的な課題及び対応について具体的に記載されている 2 複合的な課題及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. 相談事例の解決のために、市への支援を要請し、その要請に対し市から支援があったか。[33]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他、複合的な課題を持つ世帯等への支援に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	

Ⅲ 権利擁護業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：3 根拠項目：13（5）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 成年後見制度の活用を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 成年後見制度の市町村申立てに関する判断基準について、市から共有されているか。[36]	1	1 共有されており、申し立て支援も複数ある 2 共有されており、申し立て支援が1件又は申し立てまでの相談対応は実施したが申し立て支援は0件 3 共有されているが、申し立てまでの相談対応及び支援はなかった 4 共有されていない	1	センターの回答のとおり	100.0
イ. 帯広市成年後見支援センターと連携し支援にあたっているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容 記載	70歳代の夫と50歳代の妻の二人暮らし。夫の年金収入と妻の障害年金とで暮らす生活保護世帯。お金があるとすぐ使ってしまう、生活費にも困窮する。携帯電話料金代の滞納が3か月分。夫婦で金銭管理は困難と判断し、成年後見支援センターと連携し、日常生活自立支援事業を進めていくこととなるが、何度も訪問を繰り返すうち予想をはるかに上回る滞納が発覚。また妻が窃盗で勾留されるなど支援に困難を感じつつ現在も連携を取りながら支援継続中。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. その他成年後見制度の活用に関する取り組みについて。	自由 記載	ケアマネジャー対象の勉強会を実施した（参加者8名）。		評価なし	
2 関係機関と連携し高齢者虐待事例、困難事例に速やかに対応しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.0	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市と共有しているか。[38]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センターまたは市が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。[39]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 困難事例や課題の残った事例、連携が困難又は成功した事例等について、市と共有しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0
エ. センター内で事例の共有及び支援を円滑にするための体制をとっているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	5	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	事例の担当者が関係機関と連携し対応している			
	1	センター内で事例の共有や検討を行っている			
	1	センター内で報告会や事例検討会等を行っている			
	1	副担当を決めるなど複数で対応している			
	1	管理者等に随時報告や相談を行い対応している			
オ. その他虐待防止・困難事例等に関する取り組みについて。		その他（ ）			
	自由 記載	ケアマネジャー対象の勉強会をZOOMで実施した（参加者23名）。法人職員対象の研修会をZOOMで実施した（参加者33名）。		評価なし	

3 消費者被害の未然防止、早期発見、支援等を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.0	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。[29] ※相談の記録がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. アが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	光回線からアナログ回線に変更すると電話料金が安くなると言われ、既に契約したが、本人混乱しており解約したいとの希望。本人は警察署生活安全課にも相談しており、担当者に連絡があった。本人と消費者センターへ同行し解約の手続きを行った。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
ウ. 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。[30] ※少なくとも民生委員に情報提供し、その内容がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. その他消費者被害防止に関する取り組みについて。	自由記載	年1回自主企画「活いき元氣塾」を実施している。帯広市消費生活アドバイスセンター職員による講義を行った。		ア R2消費者被害対応件数 1件	

IV 包括的・継続的ケアマネジメント

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (4)】	センター自己評価		市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築のため様々な社会資源の活用ができるよう地域の体制整備を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握しているか。[42] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 おおむねほとんど把握しており、データまたは紙面で管理している 2 一部把握しており、データまたは紙面で管理している 3 把握しているが、データまたは紙面で管理していない 4 特に把握していない	100.0
イ. 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。[44]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び地域ケア会議等報告書 1 事例検討会又は個別ケア会議を複数回開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 2 事例検討会又は個別ケア会議を開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 3 事例検討会又は個別ケア会議を開催しているが、ニーズや課題の記載がない 4 開催していない	100.0
ウ. 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。[45] ※主催は問わない、地域ケア会議は含まない	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ.ウが「1」の場合、具体的な内容について	内容 記載	ケアマネジメント支援会議において、多職種連携が図れるよう関係団体を招へいしている。R2年度はがん患者の支援団体代表を呼び、家族支援についても検討した。年度初めは集合開催は困難であったが、途中からZOOMを利用することで他職種が参加しやすくなった。	1	1 介護支援専門員のニーズについて記載があり、複数の取り組みの記載がある 2 介護支援専門員のニーズについて記載があり、取り組みの記載がある 3 介護支援専門員のニーズについて記載がないが、何らかの取り組みの記載がある 4 介護支援専門員のニーズ及び取り組みの記載がない	100.0
オ. 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。[46]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び普及啓発の報告書 1 日常的に実施しており、10回以上実施している 2 依頼に応じ実施しており、5～9回実施している 3 依頼に応じ実施しており、1～4回実施している 4 依頼がなく実施していない	100.0

カ. 関係機関と介護支援専門員との連携体制及び、介護支援専門員同士の連携体制の構築を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. カが「1」の場合、具体的内容について。	内容 記載	ケアマネジメント支援会議や地域ケア会議を通して、医療介護の連携ばかりでなく、多職種連携を意識した地域包括ケアシステムが構築できるよう情報提供している。	1	記載された内容 1 関係機関との連携及び、介護支援専門員同士意見交換や情報共有ができる場の設定など相談しやすい環境づくりを行っている 2 関係機関との連携及び、地域包括支援センターと意見交換や情報共有ができる場の設定などを行っている 3 相談事例において必要な連携を図り体制構築を支援している 4 支援していない、または記載がない	100.0
ク. その他ケアマネジメントのための体制整備に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	
2 介護支援専門員に対する支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない		各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 支援困難な事例等への対応等個々の介護支援専門員へのサポートを行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。[47] ※整理・分類と経年的把握を行っている場合「はい」	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。[43] ※データ・紙面で提供している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等を開催しているか。	1	1 センター単独で定期的で開催した 2 センター単独で必要に応じ開催した 3 センター単独では開催がなく、合同企画で開催した 4 開催しなかった	1	センターの回答及び普及啓発等の報告書 1 回答が「1」で、計画的に介護支援専門員に周知し、複数回実施している 2 回答が「2」で、複数回実施している 3 回答が「2」で、実施している 4 回答が「3」 5 回答が「4」	100.0
オ. その他介護支援専門員への支援に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

V 地域ケア会議

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域ケア会議の目的、機能を理解し推進しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域ケア会議体系図及びマニュアルに沿って地域ケア会議を実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。[49] ※データ・紙面で周知している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 運営方針がデータまたは書面で整備されており、周知している 2 会議案内等への記載により、周知している 3 口頭で周知している 4 特に周知していない	100.0
ウ. 地域ケア会議の開催に当たり、参加者に対し丁寧な事前説明を行っているか。	1	1 おおむね訪問して説明し文書を用いて参加依頼している 2 電話と文書で説明し、参加依頼している 3 電話又は文書で説明し、参加依頼している 4 特に説明はせず、電話又は文書で参加依頼している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。[55] ※データ・紙面で共有している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他地域ケア会議の開催に当たっての取り組みについて。	自由 記載			評価なし	
2 地域ケア会議の積み重ねを行い、圏域の課題抽出及び整理を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。[50]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実施回数 1 個別ケア会議（事例検討を行うケア会議を含む）を6回以上開催している 2 4～5回開催している 3 1～3回開催している 4 開催していない	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。[53] ※対応策とは、課題の明確化・目標の確認・優先順位の確認・支援や対応の確認・モニタリング方法の決定などを言う	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びケア会議報告書 1 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定があり、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 2 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定はなかったが、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 3 回答が「1」だが、自立支援・重度化防止等の対応策について報告書に記載がない 4 回答が「2」	100.0

ウ. 市から示された地域ケア会議における個人情報取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。[54]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。[56] ※モニタリングが必要とされた事例は全て実施している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、前年度のモニタリング実施件数（地域ケア会議の実施年度は問わない）と主な方法について。	内容 記載	実施件数1件。前回地域ケア会議に出席していただいた地域の方中心にサービス提供事業所など関係者を招集し、集合で現在の状況と今後の方向性などを話し合った。	1	記載された内容 1 複数の事例でモニタリングを行い、具体的で実効性のある方法が記載されている 2 複数の事例でモニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 3 モニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 4 モニタリングを行っていない、または記載がない	100.0
カ. センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。[51]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市に報告しているか。[57]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答のとおり ※H31からは圏域の課題整理結果も対象	100.0
ク. その他地域課題の整理に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

VI 介護予防ケアマネジメント

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

94.4

評価指標【評価項目：1 根拠項目：11 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 本人主体の自立支援に資するケアマネジメントを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 介護予防ケアマネジメントのマニュアルに沿って支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用しているか。[60]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、心身の機能改善だけでなく、生きがいや役割を持って生活できるよう支援しているか。	1	1 興味・関心チェックシート等を活用し、活動や参加のための取り組みをケアプランに位置付けている 2 活動や参加のための取り組みをケアプランに位置付けている 3 活動や参加のための取り組みはあまりケアプランに位置付けていない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。[59]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、地域の社会資源を活用した事例の概要及び対応について。	内容 記載	多くは一人暮らし高齢者サービス、ごみのサポート収集などを記載している。また、地域交流サロンや一般介護予防事業げんき活動コースの参加などセルフケアに役立つような社会資源の積極的なPRを行い、同意が得られた方のケアプラン位置づけている。	1	記載された内容 1 社会資源の活用について具体的な記載があり、効果的なケアマネジメントを行っている 2 社会資源の活用について記載があり、ケアマネジメントを行っている 3 社会資源の活用がない、または記載されていない	100.0
カ. 総合事業のサービス提供事業所、関係者等と連携を図っているか。	1	1 市主催の連絡会議等の参加のほか、利用者の相談、情報共有、地域ケア会議の参集等で連携を図っている 2 市主催の連絡会議等の参加のほか、時々連携を図っている 3 主に市主催の連絡会議等の参加により連携を図っている 4 特に連携していない	1	センターの回答の通り ※H31からは報告書も対象	100.0
キ. その他、介護予防ケアマネジメントに関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

2 介護予防ケアマネジメント等の委託を適正に行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。[62]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。[58]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 委託先の居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアプランの作成ができるよう、支援しているか。	2	1 地域ケア会議での検討及び総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 2 地域ケア会議での検討又は総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 3 ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 4 特に支援はしていない	2	センターの回答の通り	66.7
エ. その他介護予防ケアマネジメント等の委託に関する取り組みについて	自由記載	令和2年度は自立支援型地域ケア会議でセンター内のケアプランを検討しスキルアップに取り組んだ。今年度は委託先の居宅介護支援事業所のケアプランの検討に取り組んでいるところである。		評価なし	

Ⅶ 事業間連携及び関連事業等

項目1～5の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

95.5

評価指標【評価項目：5 根拠項目：26 (7)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 正しい知識の普及や相談支援等、認知症高齢者が地域で安心して暮らせるよう見守り体制の構築をしているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.1	各根拠項目の平均実施率で評価	96.9
ア. 独自企画、または地域からの依頼で認知症サポーター養成講座を実施しているか。	1	1 地域、市からの依頼に加え、独自企画やターゲットを決めるなど地域への働きかけにより実施している 2 地域、市からの依頼があり、複数回実施している 3 市からの依頼で実施している 4 実施していない	1	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が7回以上 2 回答が1で実施回数が5回以上、回答が2で実施回数が7回以上 3 回答が2で実施回数が7回未満、回答が3で実施回数が7回以上 4 回答が3で実施回数が7回未満 5 回答が4	100.0
イ. 行方不明高齢者の搜索や見守りの模擬訓練等を実施し、その後の取り組みにつなげているか。	1	1 人材発掘や活用、地域の取り組みにつながった（予定含む） 2 実施したが人材発掘や取り組みにはつながらなかった 3 検討したが、実施に至らなかった 4 検討及び実施をしなかった	2	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が複数回 2 回答が1で実施回数が1回、回答が2で実施回数が複数回 3 回答が2で実施回数が1回 4 回答が3 5 回答が4	75.0
ウ. 認知症高齢者とその家族への支援を行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 行方不明やそのおそれのある高齢者への支援をしているか。	1	1 必要な医療・介護のサービスにつなげ、地域の見守り体制の充実に向けた支援を行っている 2 必要な医療・介護のサービスにつなげるなどの支援を行っている 3 支援は行ったが、必要なサービスにつながっていない 4 特に支援は行っていない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。[66]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び認知症初期集中支援チームの対象者数 1 情報共有を図り、対象者数が5件以上 2 情報共有を図り、対象者数が3～4件 3 情報共有を図り、対象者数が1～2件 4 情報共有を図っていない、または対象者がいなかった	100.0
カ. 地域住民や関係機関に対し認知症に関する正しい知識を普及しているか。	1	1 地域住民への出前講座及び地域ケア会議での周知を複数回実施するほか、関係機関への学習会や講話等を実施した 2 何らかの方法で地域住民への周知を実施するほか、関係機関への学習会や講話等を実施した 3 何らかの方法で地域住民への周知又は関係機関への学習会や講話等を実施した 4 特に実施していない	1	センターの回答の通り	100.0
キ. 認知症サポーター等、認知症の人や家族を支援する人材の発掘及び活動支援につながる取り組みを実施しているか。	1	1 複数の取り組みを実施した 2 何らかの取り組みを実施した 3 実施に至らなかったが、準備又は検討を実施した 4 特に実施しなかった	1	センターの回答の通り	100.0
ク. キが「1」「2」「3」の場合、具体的な取り組みについて	内容 記載	認知症サポーター養成講座を受け活動に協力すると回答された方にフォローアップ講座を実施した。また、認知症SOSネットワーク検索訓練実施時、認知症サポーターの他、あいじえん西帯広ながら見守り隊のメンバーにも参加を呼びかけ、認知症のひとが行方不明になった時の通報・搜索・発見の流れを一緒に行った。	1	1 更なる学習機会及び場の提供の実施のほか、実際に活動につながった事例があり、複数の取り組みの記載がある 2 実際に活動につながった事例があり、複数の取り組みの記載がある 3 活動につながる見込みがある事例があり、何らかの取り組みの記載がある 4 何らかの取り組みの記載がある 5 キが「4」又は、取り組みの記載がない	100.0
ケ. その他見守り体制の構築の取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

2 生活支援体制整備事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	91.7
ア. 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。[67]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 生活支援コーディネーター、地域支え合い推進員と連携を図っているか。	1	1 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は日常的に実施している 2 自法人の推進員とは日常的に連携し、その他は時々連携している 3 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は少ない 4 ほとんど連携していない	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1・2」の場合、連携の具体的な内容や成果について。	2	1 地域ケア会議、協議体等の連携により、実際に地域課題の解決策を講じている 2 地域ケア会議、協議体等の連携により、地域課題の共有及び解決策の検討を行っている 3 地域ケア会議、協議体、事業への同行等の連携を行っている 4 ほとんど連携していない	2	センターの回答及び実施報告（相談連携事例報告・地域ケア会議報告・その他） 1 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がある 2 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がない、または回答が「2」で報告書の提出がある 3 回答が「2」で報告書の提出がない 4 回答が「3」 5 回答が「4」	75.0
エ. その他生活支援体制整備に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	
3 在宅医療・介護連携推進事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。[63]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。[64]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイのどちらか、又は両方が「1」の場合、参加した主な内容について。	内容記載	ア、見える事例検討会にZOOMで参加した。テーマは「コロナ禍でサービス利用を控えるがん患者の支援について」 イ、地域リハビリテーション連携強化研修会に参加した。テーマは「連携に向けてHARPIに期待すること・できること」	1	記載された内容 1 事例検討会、講演会、勉強会等に複数回参加している 2 事例検討会、講演会、勉強会等に1回参加している 3 参加していない、または記載がない	100.0
エ. 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。[65]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 関係者に対する助言や連携支援、支援事例についての市との共有など、在宅医療と介護の連携を推進しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0
カ. 在宅医療・介護連携推進に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	

4 家族介護者への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 家族介護者への支援のための取り組みを実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護者相互の情報交換、つながりができるように支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイが「1」の場合、取り組み内容について選択。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	4 1 1 1 1 1	←選択数（入力しない） 家族介護者リフレッシュ事業 茶話会等集いの場への支援 家族介護者相談会等の開催 家族介護者支援をテーマとした地域ケア会議の開催 仕事と介護の両立に関する情報提供 家族介護者に対するアセスメント・チェック票等の活用 その他（ ）	2	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	66.7
エ. その他家族介護者支援に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	
5 高齢者の見守り支援のための取り組みを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. ひとり暮らし高齢者の情報の更新を定期的に行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実績報告 1 回答が「1」で、年度当初の訪問対象×2回に対する継続登録者の訪問回数の割合が80%以上 2 回答が「1」で、上記割合が65～79% 3 回答が「1」で、上記割合が50～64% 4 回答が「1」で、上記割合が50%未満 5 回答が「2」	100.0
イ. ねたきり認知症高齢者の支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他見守り支援に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	

帯広市地域包括支援センター事業評価（令和2年度分）

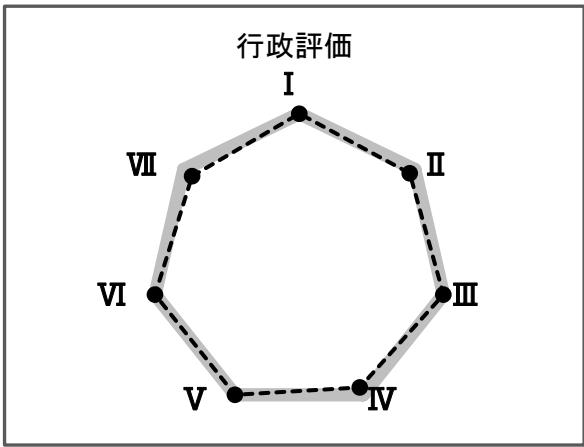
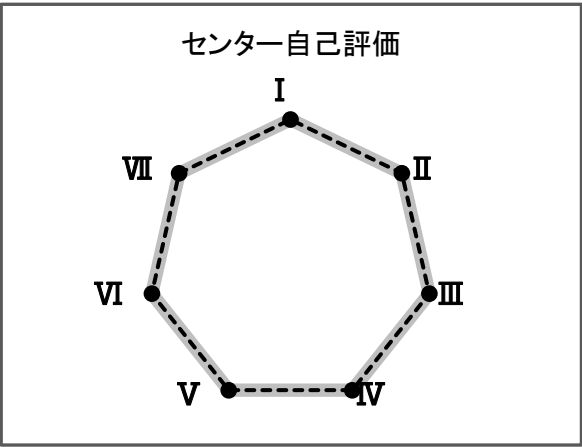
地域包括支援センター 帯広けいせい苑

	センター 自己評価	行政評価
I 組織・運営体制にかかる基本的事項	100.0 %	100.0 % ↑
II 総合相談支援業務	100.0 %	97.8 %
III 権利擁護業務	100.0 %	100.0 %
IV 包括的・継続的ケアマネジメント	100.0 %	94.5 % ↑
V 地域ケア会議	100.0 %	100.0 %
VI 介護予防ケアマネジメント	100.0 %	100.0 % ↑
VII 事業間連携及び関連事業等	100.0 %	93.2 %

（参考 前年度）

センター 自己評価	行政評価
94.4%	93.3%
100.0%	100.0%
88.9%	96.3%
100.0%	84.4%
100.0%	100.0%
100.0%	72.2%
93.3%	93.2%

矢印（↑↓）は前年比5%以上の増減があった項目口



----- 評価結果 ————— 100%

※率の算出方法

【センター自己評価】

評価項目について、「よくできている」から「まったくできていない」の4段階で自己評価を実施し、「よくできている」を100%、「まったくできていない」を0%とし、I～VIIの大分類ごとに平均したもの。

【行政評価】

評価項目ごとに設定された各設問について、実施状況を基準に基づいて0%～100%で表し、項目ごとに平均し、さらにI～VIIの大分類ごとに平均したもの。

I 組織・運営体制にかかる基本的事項

項目1～6の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：6 根拠項目：33 （11）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域包括支援センターの事業計画が適切に作成され、計画に沿って取り組まれているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.0	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域包括支援センター事業実施方針の内容に沿って事業計画を策定しているか。[11]	1	1 はい 2 示された方針に沿って策定していない 3 示された方針の内容を理解できなかった 4 方針が示されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情に応じた重点業務を明らかにしているか。[15]	1	1 はい 2 いいえ	1	提出済みの事業計画書 1 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、それに対応する具体的な重点項目を定めている 2 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載があり、具体的ではないが重点項目を定めている 3 前年度の事業実施の課題や担当圏域の現状・ニーズの記載が十分ではないが、重点項目を定めている 4 重点項目を定めていない	100.0
ウ. 事業計画の策定に当たって、市と協議し、指摘がある場合、これを反映しているか。[11－1] ※協議方法は問わない、記録が残されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 協議・指摘事項及び反映した内容について。	内容 記載	協議・指摘は特になかった。	1	★記載された内容及び事業計画書 1 協議・指摘事項の記載があり反映した内容が事業計画書に盛り込まれている、協議の記載があるが指摘や修正事項がなかった 2 協議・指摘事項の記載があるが、反映した内容が事業計画書に盛り込まれていない 3 協議・指摘事項の記載がない	100.0
オ. 市の支援・指導の内容により逐次センターの業務改善が図られているか。[12]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 支援・指導内容及び業務改善の取り組みについて。	内容 記載	前年度の事業評価等や市の実績評価を参考に、強化すべき業務（令和2年度は包括的継続的ケアマネジメント事業）について見直しを行い包括部内全体で強化を図った。	1	記載された内容 1 支援・指導内容の記載があり、業務改善の複数の取り組みが記載されている 2 支援・指導内容の記載があるが、業務改善の取り組みの記載が少ない、または記載がない 3 支援・指導内容がなかった、または記載がない	100.0
キ. その他事業計画に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	
2 帯広市及び各地域包括支援センターと連携し業務を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市が設置する定期的な連絡会合に、毎回出席しているか。[13]	1	1 はい 2 設置されているが、出席しないことがある 3 定期的な連絡会議が設置されていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 市各部署との連携を図っているか。	1	1 市民福祉部、その他必要な部署と連携している 2 市民福祉部以外は地域福祉課を通じ連携 3 主に市民福祉部との連携 4 地域福祉課以外は連携をとっていない	1	センターの回答の通り	100.0

ウ. 各職種、役割間で地域包括支援センター同士の情報共有や連携強化を図っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	6	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	100.0
	1	職種間の連携会議、打合せにおいて連携している			
	1	ケースの引継等において連携している			
	1	研修情報等の共有を行っている			
	1	事業の実施方法や最新情報等について共有を行っている			
	1	困難事例等ケース対応において情報共有等連携している			
	1	課題の共有や、解決にあたり情報共有等連携している			
		その他（ ）			
エ. その他連携に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	
3 業務に必要な人員を確保し、職員の育成を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 三職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）を配置しているか。[16]	1	1 はい 2 いいえ	1	前年度の運営状況調査の包括的支援業務の人数 1 三職種が各1人以上で合計6.5人以上 2 三職種が各1人以上で合計5.5以上6.5人未満 3 合計が5.5人以上6.5人未満 4 合計が4.5人以上5.5人未満 5 合計が3.5人以上4.5人未満 6 合計が3.5人以下	100.0
イ. 各職種の専門性を生かせるよう自己研鑽及びセンター内での育成を行っているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	4	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	各自研修参加や文献学習などで自己研鑽している			
	1	センター内で学習会など研修を実施している			
	1	センター内で各自の研修結果の共有を行っている			
	1	経験年数に応じ指導者を決めて育成を行っている			
		育成に関する方針や計画がありそれに沿って行っている			
		その他（ ）			
ウ. 職場内研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	包括部内会議が毎月あり、3、4か月に1回、各担当（専門職）から『成年後見制度の利用』や介護保険サービスの『基本的な考え方』等テーマを決めて学習する機会を設けている。	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
エ. センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を実施しているか。[18]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 職場外研修を行っている場合、その内容について。	内容記載	帯広市介護支援専門員連絡協議会主催の『介護報酬改定の概要』『多職種連携』～栄養士と繋がるに参加。社会福祉士実習指導者研修に参加。	1	記載された内容及び前年度運営状況調査 1 重点業務に関係する内容も含み複数回行っている 2 重点業務に関係する内容はないが、複数回行っている 3 年1回程度行っており、3年以上の経験のある職員が過半数 4 年1回程度行っており、3年未満の経験の職員が過半数 5 行っていない、または記載がない	100.0
カ. その他人員体制、職員の育成に関する取り組みについて。	自由記載	包括部内で定期的（3か月に1回）にテーマを決めた勉強会を実施。新人職員には同行訪問を行いOJTを実施。		評価なし	

4 個人情報保護の徹底を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 個人情報保護に関する帯広市の取扱方針に従って、個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。[22] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 個人情報が漏えいした場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護の対応を各職員へ周知しているか。[23] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 個人情報保護に関する責任者（常勤）を配置しているか。[24]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 個人情報の持出・開示時は管理簿への記載と確認をするなど、盗難や紛失のないよう管理しているか。[25] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他個人情報保護に関する取り組みについて	自由記載	介護保険サービス利用開始に伴い、契約時に個人情報の取り扱いについて契約の取り交わしを行っている。ケースファイルは施錠出来るロッカーに置き、基本職場外には持ち出さない等。		評価なし	
5 市民が利用しやすい相談体制となっているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センターの開設時間内は、何らかの形で職員が在席（やむを得ず不在時は転送電話などで対応）し、市民が利用しやすい体制をとっているか。	1	1 センター職員の不在時は他の職員の在席により対応している 2 職員不在時は転送電話により対応している 3 転送電話に出られない時があり、後でかけ直している 4 転送電話に出られない時があり、再度の連絡を待って対応している	1	センターの回答の通り	100.0
イ. パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。[21]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[19]	1	1 夜間・早朝の窓口を設置し周知している 2 夜間・早朝の窓口を設置しているが周知していない 3 夜間・早朝の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。[20]	1	1 平日以外の窓口を設置し周知している 2 平日以外の窓口を設置しているが周知していない 3 平日以外の窓口を設置していない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 相談者のプライバシー確保に関する市の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。[28] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. その他相談体制に関する取り組みについて。	自由記載	土日祝祭日に対応希望される家族もいらつしゃることから年中無休の相談体制を取っている。24時間電話対応可能。		評価なし	

6 利用者の満足度の向上について、地域包括支援センター内で体制を整備し努めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 市の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や対応策について記録しているか。[26] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 苦情内容及び対応について。 ※前年度において苦情がなかった場合は、過去の事案を記載	内容 記載		1	記載された内容 1 苦情内容及び適切で十分な対応策の記載がある 2 苦情内容及び十分とは言えないが対応策の記載がある 3 苦情内容及び対応策の記載がない ヒアリングにて過去の事例及び事例の振り返り等の対応について聴取	100.0
ウ. 苦情及び苦情につながる可能性のある事案について、職員間で検討・共有し、適切な再発防止対策をしているか。	1	1 苦情及び可能性のある事案の共有と対応策の検討を行い記録を残している 2 苦情及び可能性のある事案の共有と検討を行っているが記録していない 3 苦情があれば共有し対応策の検討を行っている 4 主に担当者のみが苦情に対応している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センターが受けた介護サービスに関する相談について、市に対し報告や協議を行う仕組みが設けられているか。[27]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他満足度の向上に関する取り組みについて	自由 記載	「包括支援センター評価シート」（社会福祉士作成）を参考に、事業所内独自で自己評価表を作成する。年度末に職員一人一人一年を振り返り評価し、自己課題・センターとしての課題、次年度にむけた改善点を職員間で共有。		評価なし	

Ⅱ 総合相談支援業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

97.8

評価指標【評価項目：3 根拠項目：18 (6)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域支援ネットワークの構築を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.2	各根拠項目の平均実施率で評価	93.3
ア. 担当地域の団体等と積極的に連携を図っているか。	1	1 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門、その他の関係団体と連携を図っている 2 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロンの他、高齢者部門の関係団体と連携を図っている 3 民生委員、町内会、老人クラブ、地域交流サロン又は高齢者部門の関係団体と連携を図っている 4 積極的には連携を図っていない	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。[29] ※介護サービス事業者・医療機関・民生委員の情報 ※データ・紙面で整備され、見直しもしている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	ヒアリング状況 1 圏域内の関係機関の情報について、マップ及びリストで管理し提出できる 2 圏域内の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理している 3 一部の関係機関の情報について、マップ又はリストで管理し提出できる 4 特にマップ又はリストによる管理をしていない	100.0
ウ. ボランティア活動の支援や、ボランティア活動への参画を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. ウが「1」の場合、具体的な支援内容について。	内容 記載	町内会やサロンで活動している方に活動再開に向けた相談支援や、アドバイス、感染症対策について情報提供を行っている。	2	記載された内容 1 実効性のある具体的な支援内容が複数記載されている 2 支援内容が記載されている 3 支援には至っていないが、準備段階として情報収集、関係作り等記載されている 4 行っていない、または記載がない	66.7
オ. 地域住民、関係機関に介護予防や地域包括ケアシステム構築等の普及啓発を進めているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は （ ）内に内容を記載	6	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	100.0
	1	年度当初に講座等のメニューを設定している			
	1	年度において重点的に実施するテーマを設定している			
	1	地域・関係者の会合などにおいて普及啓発について周知している			
	1	ちらい・HPなどで普及啓発について周知している			
	1	地域住民・関係機関からの依頼に応じ実施している			
	1	実施後何らかの手段で結果を周知・公表している			
		その他（ ）			
カ. その他地域支援ネットワーク構築に関する取り組みについて。	自由 記載	休止中の地域交流サロンの代表者と再開に向けて（実施可能な取り組み、感染対策、実施時期、周知方法等）の打ち合わせを実施。お手紙等で地域活動主催者と近況を報告し合うなど情報交換を行っている。		評価なし	

2 相談内容の把握、分析を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 的確な状況把握を行い、専門的・継続的な関与または、緊急対応の必要性を判断してしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. ワンストップサービスの拠点として情報提供、他機関等の紹介及びつなぐ支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 相談事例の終結条件を市と共有しているか。[30]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 相談事例の分類方法を、市と共有しているか。[31]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 1年間の相談事例の件数を市に報告しているか。[32]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
カ. 他のセンターと比較し、相談件数及び相談内容の特徴等について。 ※地域包括支援センター運営協議会資料、連絡会議資料等を参考	内容記載	センター内での相談件数の推移や相談件数の計上の仕方について確認している。必要と思われる内容については会議等で共有を図る。地域活動が長期休止中となり、外出や交流・運動機会が欲しいとの相談から介護認定申請に至るケースが多かった。	1	記載された内容 1 相談内容の特徴について、担当圏域の現状も踏まえ分析し具体的に記載されている 2 相談内容の特徴について分析し具体的に記載されている 3 相談内容の特徴について分析し、具体的ではないが記載されている 4 分析していない、または記載がない	100.0
キ. 相談内容の把握、分析に関する取り組みについて。	自由記載	4包括の事業実績件数や地域ケア会議開催の集計数を基に内容を分析する。次年度への取り組み課題として参考になっている。		評価なし	
3 複合的な課題を持つ世帯等への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。[34]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護、子育て、障がい等複合的な課題を持つ世帯への相談対応を行っているか。 [35] ※あてはまるものに「1」を入力。ただし、「特に対応していない」に「1」を入力する場合は1つだけ選択する。	1	市町村や他分野の相談機関と協議しつつ、対応している	1	選択数 1 2個以上 2 1個 3 特に対応していないを選択	100.0
	1	相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容を把握ようにしている			
		その他（ ）			
		特に対応していない			
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	障害のあるご家族が主介護者になるケースでは必要時（ご家族の）相談支援事業所と情報共有や連携を図りながら支援を行っている。	1	記載された内容 1 複合的な課題及び対応について具体的に記載されている 2 複合的な課題及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. 相談事例の解決のために、市への支援を要請し、その要請に対し市から支援があったか。[33]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他、複合的な課題を持つ世帯等への支援に関する取り組みについて。	自由記載	複合的な課題がある世帯は要支援者（要介護者）の支援だけでは解決に繋がらない。ご家族の相談も伺い、関係機関（市役所・相談支援センター・医療機関）に繋げる等の対応を行っている。		評価なし	

Ⅲ 権利擁護業務

項目1～3の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：3 根拠項目：13 (5)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 成年後見制度の活用を進めているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 成年後見制度の市町村申立てに関する判断基準について、市から共有されているか。[36]	1	1 共有されており、申し立て支援も複数ある 2 共有されており、申し立て支援が1件又は申し立てまでの相談対応は実施したが申し立て支援は0件 3 共有されているが、申し立てまでの相談対応及び支援はなかった 4 共有されていない	1	センターの回答のとおり	100.0
イ. 帯広市成年後見支援センターと連携し支援にあたっているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容 記載	認知症、独居の方で在宅生活が難しくつつある方で市長申し立てが必要なケースには情報提供や連携を図っている。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
エ. その他成年後見制度の活用に関する取り組みについて。	自由 記載	身寄りのない方の相談が年々増えている。後見人がいないとサービス利用や施設入所が難しくなっている為、積極的に制度の利用を勧めている。		ア 申し立て支援7件	
2 関係機関と連携し高齢者虐待事例、困難事例に速やかに対応しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市と共有しているか。[38]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センターまたは市が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。[39]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 困難事例や課題の残った事例、連携が困難又は成功した事例等について、市と共有しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0
エ. センター内で事例の共有及び支援を円滑にするための体制をとっているか。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	5	←選択数（入力しない）	1	選択数 1 4個以上 2 2～3個 3 1個 4 0個	100.0
	1	事例の担当者が関係機関と連携し対応している			
	1	センター内で事例の共有や検討を行っている			
	1	センター内で報告会や事例検討会等を行っている			
	1	副担当を決めるなど複数で対応している			
	1	管理者等に随時報告や相談を行い対応している			
		その他（ ）			
オ. その他虐待防止・困難事例等に関する取り組みについて。	自由 記載	虐待・困難事例で必要と思われる場合は地域ケア会議等を開催し、連携体制の構築を図る。包括内では複数の職員で相談支援体制を整え支援している。		評価なし	

3 消費者被害の未然防止、早期発見、支援等を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。[29] ※相談の記録がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. アが「1」の場合、主な事例の概要及び対応について。	内容記載	認知症高齢者が代引きと称し、数万円の支払いを言われるがまま支払ってしまう事例では、被害にあわないための対応方法について警察等に相談。	1	記載された内容 1 事例の概要及び対応について具体的に記載されている 2 事例の概要及び対応について、具体的ではないが記載されている 3 支援していない、または記載がない	100.0
ウ. 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。[30] ※少なくとも民生委員に情報提供し、その内容がデータ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. その他消費者被害防止に関する取り組みについて。	自由記載	訪問販売等で被害に合いそうな認知症高齢者宅や独居の方へ帯広市消費生活アドバイスセンターのパンフレットや『訪問販売お断り』シールの配布を行っている。		ア 消費者被害対応 4件	

Ⅳ 包括的・継続的ケアマネジメント

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

94.5

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (4)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築のため様々な社会資源の活用ができるよう地域の体制整備を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.1	各根拠項目の平均実施率で評価	95.2
ア. 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握しているか。[42] ※データ・紙面で整備されている場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 おおむねほとんど把握しており、データまたは紙面で管理している 2 一部把握しており、データまたは紙面で管理している 3 把握しているが、データまたは紙面で管理していない 4 特に把握していない	100.0
イ. 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。[44]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び地域ケア会議等報告書 1 事例検討会又は個別ケア会議を複数回開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 2 事例検討会又は個別ケア会議を開催し、企画書又は報告書に介護支援専門員のニーズや課題の記載がある 3 事例検討会又は個別ケア会議を開催しているが、ニーズや課題の記載がない 4 開催していない	100.0
ウ. 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。[45] ※主催は問わない、地域ケア会議は含まない	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ.ウが「1」の場合、具体的な内容について	内容 記載	高齢者の受診（定期・突発的なワクチン接種）について、公共交通機関が遠方で利用できない方が多い地域があり、保険外サービスを初めとする情報や策がないか、圏域内のバスやタクシー会社と何か支援する策はないか話している。実際に高齢者の方の意見を伺いたいと希望する会社もあり、本人の了解をもらい利用者の生の声を包括を通じて伝えるなどしている。	1	1 介護支援専門員のニーズについて記載があり、複数の取り組みの記載がある 2 介護支援専門員のニーズについて記載があり、取り組みの記載がある 3 介護支援専門員のニーズについて記載がないが、何らかの取り組みの記載がある 4 介護支援専門員のニーズ及び取り組みの記載がない	100.0
オ. 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。[46]	1	1 はい 2 いいえ	2	センターの回答及び普及啓発の報告書 1 日常的に実施しており、10回以上実施している 2 依頼に応じ実施しており、5～9回実施している 3 依頼に応じ実施しており、1～4回実施している 4 依頼がなく実施していない	66.7

カ. 関係機関と介護支援専門員との連携体制及び、介護支援専門員同士の連携体制の構築を支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. カが「1」の場合、具体的内容について。	内容 記載	専門職（訪問看護・PT・福祉用具・障害福祉等）の観点から、アドバイスを頂いたりいつでも相談出来る関係作りを目的とした自立支援型ケアマネジメント支援会議を開催する。	1	記載された内容 1 関係機関との連携及び、介護支援専門員同士意見交換や情報共有ができる場の設定など相談しやすい環境づくりを行っている 2 関係機関との連携及び、地域包括支援センターと意見交換や情報共有ができる場の設定などを行っている 3 相談事例において必要な連携を図り体制構築を支援している 4 支援していない、または記載がない	100.0
ク. その他ケアマネジメントのための体制整備に関する取り組みについて。	自由 記載			評価なし	
2 介護支援専門員に対する支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	93.8
ア. 支援困難な事例等への対応等個々の介護支援専門員へのサポートを行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。[47] ※整理・分類と経年的把握を行っている場合「はい」	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか。[43] ※データ・紙面で提供している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等を開催しているか。	2	1 センター単独で定期的に開催した 2 センター単独で必要に応じ開催した 3 センター単独では開催がなく、合同企画で開催した 4 開催しなかった	2	センターの回答及び普及啓発等の報告書 1 回答が「1」で、計画的に介護支援専門員に周知し、複数回実施している 2 回答が「2」で、複数回実施している 3 回答が「2」で、実施している 4 回答が「3」 5 回答が「4」	75.0
オ. その他介護支援専門員への支援に関する取り組みについて。	自由 記載	キーパーソンとなる家族自体に支援が必要となる（対応困難）ケースでは担当の介護支援専門員と同行訪問をし、その後もモニタリング等で密に相談や連絡しやすい関係作りに取り組んでいる。		評価なし	

V 地域ケア会議

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：2 根拠項目：13 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 地域ケア会議の目的、機能を理解し推進しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 帯広市地域ケア会議体系図及びマニュアルに沿って地域ケア会議を実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。[49] ※データ・紙面で周知している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びヒアリング 1 運営方針がデータまたは書面で整備されており、周知している 2 会議案内等への記載により、周知している 3 口頭で周知している 4 特に周知していない	100.0
ウ. 地域ケア会議の開催に当たり、参加者に対し丁寧な事前説明を行っているか。	1	1 おおむね訪問して説明し文書を用いて参加依頼している 2 電話と文書で説明し、参加依頼している 3 電話又は文書で説明し、参加依頼している 4 特に説明はせず、電話又は文書で参加依頼している	1	センターの回答の通り	100.0
エ. センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。[55] ※データ・紙面で共有している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他地域ケア会議の開催に当たっての取り組みについて。	自由 記載	ひとりでは抱えて困っているケースはないか、居宅介護支援事業所のケアマネさんに都度声掛けさせて貰い、必要と思われる際は地域ケア会議を開催している。		評価なし	
2 地域ケア会議の積み重ねを行い、圏域の課題抽出及び整理を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。[50]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実施回数 1 個別ケア会議（事例検討を行うケア会議を含む）を6回以上開催している 2 4～5回開催している 3 1～3回開催している 4 開催していない	100.0
イ. センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。[53] ※対応策とは、課題の明確化・目標の確認・優先順位の確認・支援や対応の確認・モニタリング方法の決定などを言う	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及びケア会議報告書 1 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定があり、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 2 回答が「1」で、自立支援に資する観点からの事例選定はなかったが、自立支援・重度化防止等の対応策を講じ報告書に記載がある 3 回答が「1」だが、自立支援・重度化防止等の対応策について報告書に記載がない 4 回答が「2」	100.0

ウ. 市から示された地域ケア会議における個人情報取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。 [54]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。[56] ※モニタリングが必要とされた事例は全て実施している場合「はい」とする	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、前年度のモニタリング実施件数（地域ケア会議の実施年度は問わない）と主な方法について。	内容 記載	8件 随時電話でモニタリングを実施。事業所からその後について連絡を頂く場合もある。再度地域ケア会議を実施しなければならない状況にはなく、施設入所になった、転居することになった等のその後の結果（結論）報告を頂く。	1	記載された内容 1 複数の事例でモニタリングを行い、具体的で実効性のある方法が記載されている 2 複数の事例でモニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 3 モニタリングを行い、何らかの方法が記載されている 4 モニタリングを行っていない、または記載がない	100.0
カ. センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。[51]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
キ. センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市に報告しているか。[57]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答のとおり ※H31からは圏域の課題整理結果も対象	100.0
ク. その他地域課題の整理に関する取り組みについて。	自由 記載	開催された会議については年度で集計し部内で周知している。コロナ禍にあり圏域会議等地域の方を大々的に招きして会議を開くことは難しかった。		評価なし	

VI 介護予防ケアマネジメント

項目1～2の回答の平均（★）→

1.0

（★）を実施率（％）で表示 →

100.0

行政評価を実施率（％）で表示 →

100.0

評価指標【評価項目：1 根拠項目：11 (3)】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 本人主体の自立支援に資するケア マネジメントを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 介護予防ケアマネジメントのマニュアルに 沿って支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 利用者のセルフマネジメントを推進する ため、市から示された支援の手法を活用して いるか。[60]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支 援のケアプランにおいて、心身の機能改善だ けでなく、生きがいや役割を持って生活できる よう支援しているか。	1	1 興味・関心チェックシート等を活用し、活動 や参加のための取り組みをケアプランに位置付 けている 2 活動や参加のための取り組みをケアプランに 位置付けている 3 活動や参加のための取り組みはあまりケア プランに位置付けていない	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支 援のケアプランにおいて、保険給付や介護予 防・生活支援サービス事業以外の多様な地 域の社会資源を位置づけたことがあるか。 [59]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. エが「1」の場合、地域の社会資源を活用 した事例の概要及び対応について。	内容 記載	定期的に行われている地域の協力者による支 援（スーパーや病院の送迎）や趣味のゲート ボールや着物の会、地域のお仲間と女子会 （食事会）、体操、認知症予防の為に勉強 会等もプランに位置付けている。	1	記載された内容 1 社会資源の活用について具体的な記載があ り、効果的なケアマネジメントを行っている 2 社会資源の活用について記載があり、ケア マネジメントを行っている 3 社会資源の活用がない、または記載されてい ない	100.0
カ. 総合事業のサービス提供事業所、関係 者等と連携を図っているか。	1	1 市主催の連絡会議等の参加のほか、利用 者の相談、情報共有、地域ケア会議の参集等 で連携を図っている 2 市主催の連絡会議等の参加のほか、時々 連携を図っている 3 主に市主催の連絡会議等の参加により連 携を図っている 4 特に連携していない	1	センターの回答の通り ※H31からは報告書も対象	100.0
キ. その他、介護予防ケアマネジメントに関 する取り組みについて。	自由 記載	感染症予防が長期化し、人との繋がりや交流 機会が激減してしまっている。人との関り、交 流、出掛けていく場の再構築が今後の課題であ る。		評価なし	

2 介護予防ケアマネジメント等の委託を適正に行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。[62]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。[58]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. 委託先の居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアプランの作成ができるよう、支援しているか。	2	1 地域ケア会議での検討及び総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 2 地域ケア会議での検討又は総合事業・介護予防ケアマネジメントの学習機会の提供のほか、ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 3 ケアプラン作成に当たっての助言等支援を行っている 4 特に支援はしていない	2	センターの回答の通り	66.7
エ. その他介護予防ケアマネジメント等の委託に関する取り組みについて	自由記載	令和2年度は委託しているケースを中心に自立支援型のケアマネジメント支援会議を実施し、改めて介護予防の視点について学習機会を設ける。		評価なし	

Ⅶ 事業間連携及び関連事業等

項目1～5の回答の平均（★）→ 1.0
（★）を実施率（％）で表示 → 100.0
行政評価を実施率（％）で表示 → 93.2

評価指標【評価項目：5 根拠項目：28（7）】	センター自己評価		帯広市による行政評価		
	回答 入力	選択肢及び内容・自由記載欄	行政 回答	行政評価基準	評価
1 正しい知識の普及や相談支援等、認知症高齢者が地域で安心して暮らせるよう見守り体制の構築をしているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	85.4
ア. 独自企画、または地域からの依頼で認知症サポーター養成講座を実施しているか。	2	1 地域、市からの依頼に加え、独自企画やターゲットを決めるなど地域への働きかけにより実施している 2 地域、市からの依頼があり、複数回実施している 3 市からの依頼で実施している 4 実施していない	2	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が7回以上 2 回答が1で実施回数が5回以上、回答が2で実施回数が7回以上 3 回答が2で実施回数が7回未満、回答が3で実施回数が7回以上 4 回答が3で実施回数が7回未満 5 回答が4	75.0
イ. 行方不明高齢者の捜索や見守りの模擬訓練等を実施し、その後の取り組みにつなげているか。	1	1 人材発掘や活用、地域の取り組みにつながった（予定含む） 2 実施したが人材発掘や取り組みにはつながらなかった 3 検討したが、実施に至らなかった 4 検討及び実施をしなかった	1	センターの回答及び実施回数 1 回答が1で実施回数が複数回 2 回答が1で実施回数が1回、回答が2で実施回数が複数回 3 回答が2で実施回数が1回 4 回答が3 5 回答が4	100.0
ウ. 認知症高齢者とその家族への支援を行っているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
エ. 行方不明やそのおそれのある高齢者への支援をしているか。	1	1 必要な医療・介護のサービスにつなげ、地域の見守り体制の充実に向けた支援を行っている 2 必要な医療・介護のサービスにつなげるなどの支援を行っている 3 支援は行ったが、必要なサービスにつながらない 4 特に支援は行っていない	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。[66]	1	1 はい 2 いいえ	3	センターの回答及び認知症初期集中支援チームの対象者数 1 情報共有を図り、対象者数が5件以上 2 情報共有を図り、対象者数が3～4件 3 情報共有を図り、対象者数が1～2件 4 情報共有を図っていない、または対象者がいなかった	33.3
カ. 地域住民や関係機関に対し認知症に関する正しい知識を普及しているか。	1	1 地域住民への出前講座及び地域ケア会議での周知を複数回実施するほか、関係機関への学習会や講話等を実施した 2 何らかの方法で地域住民への周知を実施するほか、関係機関への学習会や講話等を実施した 3 何らかの方法で地域住民への周知又は関係機関への学習会や講話等を実施した 4 特に実施していない	1	センターの回答の通り	100.0
キ. 認知症サポーター等、認知症の人や家族を支援する人材の発掘及び活動支援につながる取り組みを実施しているか。	1	1 複数の取り組みを実施した 2 何らかの取り組みを実施した 3 実施に至らなかったが、準備又は検討を実施した 4 特に実施しなかった	1	センターの回答の通り	100.0
ク. キが「1」「2」「3」の場合、具体的な取り組みについて	内容 記載	地域の民生委員や地域で活動している住民に共有し自宅に帰れなくなる危険性のある方の情報を共有し、何らかの状況があれば包括支援センターに連絡し、必要に応じてネットワークの構築、地域住民の見守りの目を強化してもらった。	2	1 更なる学習機会及び場の提供の実施のほか、実際に活動につながった事例があり、複数の取り組みの記載がある 2 実際に活動につながった事例があり、複数の取り組みの記載がある 3 活動につながる見込みがある事例があり、何らかの取り組みの記載がある 4 何らかの取り組みの記載がある 5 キが「4」又は、取り組みの記載がない	75.0
ケ. その他見守り体制の構築の取り組みについて。	自由 記載	認知症サポーター養成講座にて地域での見守り体制の重要性についても説明を行っている。	オ	認知症初期集中支援対象1件	

2 生活支援体制整備事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	91.7
ア. 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。[67]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 生活支援コーディネーター、地域支え合い推進員と連携を図っているか。	1	1 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は日常的に実施している 2 自法人の推進員とは日常的に連携し、その他は時々連携している 3 コーディネーター・地域支え合い推進員との連携は少ない 4 ほとんど連携していない	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. イが「1・2」の場合、連携の具体的な内容や成果について。	1	1 地域ケア会議、協議体等の連携により、実際に地域課題の解決策を講じている 2 地域ケア会議、協議体等の連携により、地域課題の共有及び解決策の検討を行っている 3 地域ケア会議、協議体、事業への同行等の連携を行っている 4 ほとんど連携していない	2	センターの回答及び実施報告（相談連携事例報告・地域ケア会議報告・その他） 1 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がある 2 回答が「1」で取り組みに関する報告書の提出がない、または回答が「2」で報告書の提出がある 3 回答が「2」で報告書の提出がない 4 回答が「3」 5 回答が「4」	75.0
エ. その他生活支援体制整備に関する取り組みについて。	自由記載	地域住民から問い合わせ頂いた社会資源（除雪のこと等）に関することについては地域支え合い推進に地域に暮らす高齢者が具体的にどんなことに困っていて不安に感じているかなど情報提供を行っている。		評価なし	
3 在宅医療・介護連携推進事業に協力しているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。[63]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。[64]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイのどちらか、又は両方が「1」の場合、参加した主な内容について。	内容記載	入院中の方で病識が乏しく身寄りのない方の今後の支援について方向性が決まらず、病院内で医療関係者と共に個別ケア会議を開催し検討を行った。自立支援型のケアマネジメント会議では医療職（訪問看護師、理学療法士）と共に事例検討を実施。	1	記載された内容 1 事例検討会、講演会、勉強会等に複数回参加している 2 事例検討会、講演会、勉強会等に1回参加している 3 参加していない、または記載がない	100.0
エ. 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。[65]	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. 関係者に対する助言や連携支援、支援事例についての市との共有など、在宅医療と介護の連携を推進しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び報告書 1 回答が「1」で、複数の種類の事例について報告書の提出がある 2 回答が「1」で、複数の事例について報告書の提出がある 3 回答が「1」で、報告書の提出がある 4 回答が「1」で、報告書の提出がない、または回答が「2」	100.0
カ. 在宅医療・介護連携推進に関する取り組みについて。	自由記載			評価なし	

4 家族介護者への支援を行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1.3	各根拠項目の平均実施率で評価	88.9
ア. 家族介護者への支援のための取り組みを実施しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
イ. 介護者相互の情報交換、つながりができるように支援しているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
ウ. アとイが「1」の場合、取り組み内容について選択。 ※実施しているものに「1」を入力し、「その他」が「1」の場合は（ ）内に内容を記載	3 1 1 1 1 その他（ ）	←選択数（入力しない） 家族介護者リフレッシュ事業 茶話会等集いの場への支援 家族介護者相談会等の開催 家族介護者支援をテーマとした地域ケア会議の開催 仕事と介護の両立に関する情報提供 家族介護者に対するアセスメント・チェック票等の活用 その他（ ）	2	選択数 1 5個以上 2 3～4個 3 1～2個 4 0個	66.7
エ. その他家族介護者支援に関する取り組みについて。	自由 記載	家族介護者による自主グループ「茶輪会」での活動は実施できなかったが、帯広市のリフレッシュ事業実施に向けて近況確認を含め、どのような集まりであれば参加可能か電話で伺っている。茶輪会メンバーにはクリスマスカードを送付。		評価なし	
5 高齢者の見守り支援のための取り組みを行っているか。	1	1 よくできている 2 ある程度できている 3 あまりできていない 4 まったくできていない	1	各根拠項目の平均実施率で評価	100.0
ア. ひとり暮らし高齢者の情報の更新を定期的にしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答及び実績報告 1 回答が「1」で、年度当初の訪問対象×2回に対する継続登録者の訪問回数の割合が80%以上 2 回答が「1」で、上記割合が65～79% 3 回答が「1」で、上記割合が50～64% 4 回答が「1」で、上記割合が50%未満 5 回答が「2」	100.0
イ. ねたきり認知症高齢者の支援をしているか。	1	1 はい 2 いいえ	1	センターの回答の通り	100.0
オ. その他見守り支援に関する取り組みについて。	自由 記載	民生委員を中心に、心配な高齢者世帯について情報提供があり共有し、地区での見守りを依頼したり何か状況に変化があった際にはすぐに包括と連絡・連携を取り合えるよう民生委員の定例会で伝えている。		評価なし	

令和４年度 地域包括支援センター事業実施方針（案）

令和３年度からの主な変更部分

p	変更内容	変更理由
6 p	（２）高齢者虐待への対応 修正 帯広市高齢者虐待防止マニュアル →帯広市高齢者虐待対応マニュアル	マニュアル名変更に伴い修正
9 p	（３）医療と介護の連携に係る事業 削除部分 ・医療と介護の連携に関する相談・連携事例を報告 ・連携支援機関会議 ・介護支援専門員からの相談への対応 ・多職種連携を拡大するための取り扱いルール等 追加部分 ・また、地域の多職種と合同の事例検討会等への参加、在宅医療や看取り等についての住民への普及啓発、その他市が実施主体の取り組みに関して適宜協力し、	令和３年度までの３年間で重点的に取り組む内容としていた部分を削除しています。連携に関する事例の報告や介護支援専門員への相談対応については、総合相談支援業務と包括的・継続的ケアマネジメント支援業務として継続していただくこととなります。 追加部分については、これまでも取り組んできていただいている内容であり、国の評価にも記載のある取り組み事項であることから、追加しています。
10 p	（４）その他の事業 ア 家族介護者支援事業 追加部分 ・ダブルケアやヤングケアラーについて	第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における充実事項であることから追加しています。 家族介護者への支援では、様々な関係機関と連携し取り組んでいただいておりますが、その中で、ダブルケアやヤングケアラーについて把握した場合についても、複合的な課題を抱えていることが多く、関係機関と連携した対応が重要であることから記載しています。

令和4年度 帯広市地域包括支援センター事業実施方針（案）

I 方針策定の趣旨

この「帯広市地域包括支援センター事業実施方針」は、地域包括支援センターを運営する上での基本的な考え方や理念、業務推進の方針等を明確にするとともに、地域包括支援センター事業の円滑で効果的な実施に資することを目的に策定します。

II 帯広市の基本的方針

1 地域包括ケアシステムの構築

高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で健康で生き生きと充実した生活を営むことができる社会を目指し、地域包括ケアの取り組みを推進するとともに、認知症施策の充実や、高齢者自らが日頃から健康の保持・増進や介護予防に努め、生涯現役を目指して活動できるよう社会参加と自立を促す機会の提供を進めます。

地域包括ケア推進に当たっての具体的な施策の展開については、第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画によるものとします。

2 地域包括支援センターの役割

地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、包括的支援事業等を地域において一体的に実施する役割を担う中核的機関として設置されるものです（介護保険法第115条の4第1項）。地域包括ケアシステムの構築が地域共生社会の実現にもつながることを視野に入れながら、保健・医療・介護等の専門職や、民生委員、ボランティア等の地域の関係者とネットワークを構築し活動します。

III 運営体制

1 運営上の基本的な視点

（1）公益性の視点

地域包括支援センターは、帯広市の介護・福祉行政の一翼を担う「公益的な機関」として、公正で中立性の高い事業運営を行います。また、地域包括支援センターの運営費用は、帯広市民の負担する介護保険料や市民税、そして国・道の公費によって賄われていることを十分

に理解し、適切な事業運営を行います。

(2) 地域性の視点

地域包括支援センターは、地域のサービス提供体制を支える中核的な機関であるため、担当圏域の地域特性や実情を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行います。そのため、様々な場や機会を通じ、地域住民をはじめとして、医療機関、サービス事業者、民生委員や地域の関係者等の意見を幅広く汲み上げ、日々の活動に反映させるとともに、地域が抱える課題を把握し、解決に向けて積極的な取り組みを行います。

(3) 協働性の視点

地域包括支援センターの専門3職種である保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を中心とした協働により、チームとして業務全体を支えます。また、それぞれの職種の専門性を発揮しながら、情報の共有や相互の助言等を行うなど、連携して業務を遂行するチームアプローチを行います。

2 人員体制

地域包括支援センターは、包括的支援事業及び関連する各業務に必要な人員を確保し、専門3職種に加え、認知症地域支援推進員、認知症専門担当職員、コーディネーター、ひとり暮らし高齢者相談員等が各々の役割を果たし、効果的に事業を実施できるよう職員を配置します。そのうち認知症地域支援推進員については、認知症総合支援事業の専従とします。

職員の配置に当たっては、地域包括支援センター等における相談業務の経験等を考慮するとともに、経験年数及び業務内容に応じた研修の実施など、職員の育成を行います。

3 業務推進の方針

(1) 事業計画の策定

地域包括支援センターは、担当圏域の現状やニーズに基づきセンターの実情に応じた重点課題・重点目標を設定し、具体的な事業計画を策定します。また、策定に当たって地域包括支援センター職員が協議するとともに、自ら事業計画の進捗管理を実施し、帯広市と共有を行います。

次に掲げる事項については、地域包括支援センターの事業計画に反映します。

- ・地域包括ケアシステムの深化・推進のための取り組み
- ・地域ケア会議等を通じた地域課題の抽出及び解決のための取り組み
- ・保健・医療・介護等の専門職や地域の関係者との連携体制

(2) 事業評価の実施

地域包括支援センターは、帯広市が提示する地域包括支援センター事業評価の項目に沿って自己評価を行うとともに、その内容を踏まえ帯広市が実施する行政評価の結果について共有します。そして、地域包括支援センター運営協議会での意見も踏まえ、当年度の業務改善

及び次年度の事業計画に反映させるなど活用し、地域包括支援センターの機能強化を図ります。

(3) 職員の姿勢

地域包括支援センターの職員は、地域住民が住み慣れた環境で自分らしい人生を継続できるよう支援することを念頭に置き、常に利用者に最善の利益を図るために業務を遂行します。

(4) 地域との連携

地域住民と関係者が共通の意識で地域包括ケアシステムの構築に取り組めるように、地域包括ケアに関する情報を積極的に発信し共有を行います。また、地域が抱える課題を把握し解決に向け積極的に取り組みます。

(5) 介護支援専門員との連携

地域の介護支援専門員の資質向上と支援を行うため、居宅介護支援事業所や介護保険施設等の介護支援専門員と連携体制を構築し、課題解決や目標達成に取り組みます。

(6) 個人情報の保護

業務上知り得た情報については、目的外使用及び不特定多数の者に漏れることがないよう個人情報の保護に留意し、守秘義務を遵守するとともに、情報管理を徹底します。個人情報の漏えい等の事故が発生した場合については、速やかな個人情報の回収等の措置を行うとともに、帯広市にも報告し再発防止に向けて取り組みます。個人情報保護に関する具体的な取り扱いについては、別途取り交わす「個人情報取扱特記事項」によるものとします。

(7) プライバシーの保護

地域包括支援センターによる相談等の対応に当たり、可能な限りプライバシーが保てる場所や時間を確保するなど、相談者が安心して相談できる環境づくりに努めます。

(8) 利用しやすい相談体制

地域包括支援センターの業務への理解と協力を得るために、パンフレットや広報紙等を作成し、様々な場所や機関へ配布するほか、住民の集まる場や相談会等での配布を行うなど、地域住民及び関係者へ積極的に広報します。また、相談に来所した住民等が戸惑うことのないよう案内表示を工夫するほか、担当職員の不在時や夜間及び休日においても連絡が取れるような職員体制を整備し周知します。

(9) 苦情対応

苦情に対しては、迅速・誠実に対応する体制を構築します。また、苦情があった場合は、苦情の内容や対応経過についての記録作成や職員間での共有を行い、必要に応じ関係部署で共有するなど、適切な再発防止対策を講じます。

(10) 帯広市との連携

地域包括支援センターの業務は多岐にわたり、帯広市の多くの部署と関係しているため、各関係部署との日常的な連携を強化し、支援が難しい事例等については迅速に対応できるよう、事例の状況に応じて必要な部署と連携を図ります。また、地域包括支援センターの業務

を効果的に推進するために、業務における関連事項について、帯広市との情報共有や事業実施における協働を行い、連携の維持・強化を図ります。

(1 1) 地域包括支援センター間の連携

それぞれの職種や役割において、各事業の実施状況や課題について共有し、他の地域包括支援センターと協働するなど、解決に向け効果的と判断される事業や取り組み等について検討し実施します。

(1 2) 新型コロナウイルス感染症への対策

高齢者の感染は重症化リスクが高いことを踏まえ、状況に合わせて十分な感染予防対策を講じ事業を実施します。また、感染予防に関する知識及び、外出自粛や通いの場の休止等の影響による心身の機能低下の予防について普及啓発を行います。加えて、地域での感染拡大、職員や関係者の感染等の事態に備え、業務継続計画（BCP）の作成など業務の継続性を確保するための対策を進めます。

IV 業務内容

次に記載する 1 から 5 までの業務については一部重複し連動しており、総合相談支援業務を基盤としながら担当圏域において一体的に実施します。また、地域包括ケアを推進していくため、6 の各事業について効果的な実施及び連携を図るものとします。

実施に当たっては、それぞれの業務を関連させながら課題を明確にし、事業目標や取り組み内容について事業計画に具体的に位置づけます。

1 総合相談支援業務

総合相談支援は、課題を抱える高齢者を発見し適切な支援や包括的支援事業の他の業務につなげていくものであり、地域包括支援センター事業の基盤となる業務です。

(1) 実態把握

支援が必要な人を発見するとともに、地域の課題やニーズを把握するため、帯広市から提供される高齢者の情報や、日常の活動の中で把握した情報を活用し、高齢者の生活実態の把握を行います。

(2) 地域支援ネットワークの構築

地域で活用可能な社会資源の把握を積極的に行い、地域住民が活用しやすいようマップやリストを作成するなど管理し、相談時に適切に情報提供します。

地域住民に対して、民生委員や町内会、老人クラブや地域交流サロン等との連携強化を図りネットワークを構築します。地域ケア会議等も活用するなど、地域住民、関係団体や関係事業所等も含め顔の見える関係づくりを行い、地域における支援体制の強化を図ります。

また、住民主体の介護予防活動を地域に展開することを目指し、地域住民、関係機関に介

護予防に関する考え方について普及啓発を進めます。利用者の自立支援に資する継続的な支援を行うため、介護予防・日常生活支援総合事業の実施者や自主活動団体等との連携を図り、地域住民のボランティア活動への参画を支援するなど、社会資源の把握及び活用、さらには構築を支援します。

（３）総合相談

高齢者福祉におけるワンストップサービス拠点として、地域の高齢者等に関する様々な相談を受け、的確に把握した情報を、適切な機関・制度・サービスにつなぎ継続的に支援し、必要に応じて地域包括支援センターの他の業務につなげていきます。具体的には、職種の専門性も活かしながら相談受付と課題の明確化を行い、自立した生活を送ることができるよう適切な制度及びサービスの情報提供や調整等の支援を行います。

また、以下のような条件により、支援を引き継いでいくことで終結となりますが、その後もフォローアップや包括的・継続的ケアマネジメント支援を行うなど、必要に応じ対応します。

- ・相談者の主訴が解決し、主訴以外の困難な問題がない場合
- ・適切な機関やサービスにつなげ、引継ぎや支援の開始が確認された場合
- ・相談者を支える体制が構築され、引継ぎや支援の開始が確認された場合

２ 権利擁護業務

権利侵害行為の対象となっている又は対象となりやすい高齢者、若しくは自ら権利主張できない高齢者に対し、地域で安心して尊厳のある生活を送れるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に行います。

（１）成年後見制度の活用

認知症などにより判断能力の低下が見られる場合については、介護や医療の各種制度やサービスの利用、金銭管理や契約行為などについて適切なサポートが受けられるよう、必要に応じて市長申し立てや本人・親族申し立ての支援を行うなど成年後見制度の活用を進めます。制度の利用に関する相談にあたっては、対象者の状況に応じて帯広市成年後見支援センター（みまもーる）、法テラスなどの関係機関と連携を図ります。また、市長申し立てに関しては、「成年後見制度に係る帯広市の審判請求に関する要綱」で定める内容を踏まえて対応します。

（２）高齢者虐待への対応

高齢者虐待の防止及び対応においては、「帯広市高齢者虐待防止対応マニュアル」に基づき、速やかに状況を把握し、帯広市と連携を図り適切な対応を行います。

（３）支援が難しい事例への対応

支援が困難だと考えられる対象者を把握した場合は、地域包括支援センターの専門職全体で適切な対応を検討するとともに、関係機関及び必要に応じ帯広市の関係部署と連携を図り支援します。

(4) 消費者被害の防止

消費者被害に対応するため、警察や帯広市消費生活アドバイスセンター等との連携を図り、情報伝達と適切な対応により被害を未然に防ぐよう努めるとともに、必要時被害回復のための支援を行います。

(5) 予防対策と早期発見

権利侵害の予防、早期発見のため、地域住民、民生委員、介護支援専門員、サービス事業者等に対し、成年後見制度の周知や消費者被害に関する情報提供等を行い、権利擁護についての知識や対応策の普及啓発を行います。

(6) 情報共有と連携

事例や取り組みについて帯広市と情報共有するとともに、帯広市高齢者虐待防止ネットワーク会議等への参加により、地域包括支援センター業務実施における情報について共有し、関係機関と連携しながら権利侵害の予防、早期発見に向けた取り組みを進めます。

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者がその人らしく自立した日常生活を送ることができるよう、地域における各関係団体との連携体制及び多職種協働によるケアマネジメント体制を強化し、包括的・継続的ケアマネジメントを実践するための環境整備を行います。また、個々の介護支援専門員の資質向上のため、事例検討会や研修会等の学習機会を提供し実践を支援します。

(1) 包括的・継続的なケアマネジメント体制の構築

事例検討会や地域ケア会議の開催のほか、介護支援専門員の抱える課題やニーズに基づく多様な関係者との意見交換の場を設けるなど、介護支援専門員と関係機関の連携体制の構築を支援し、地域の介護支援専門員が円滑にケアマネジメントを実践できる環境を整備します。また、介護保険サービス以外の様々な社会資源を活用できるよう、地域との協働体制を整備するとともに、地域住民やサービス事業所に対し介護予防や自立支援に関する普及啓発を行うなど、地域において包括的・継続的ケアマネジメントが行われる体制を構築します。

(2) 介護支援専門員に対する支援

介護支援専門員の日常業務の実施に関して、専門的な見地から相談対応を行い、支援が難しい事例や複雑多様化した生活課題を抱える事例については、地域ケア会議も活用しながら具体的な支援方針と一緒に検討するなどサポートを行います。

また、介護支援専門員の資質の向上を図る観点から、事例検討会及び研修会等を実施するとともに、日常的に業務が円滑に実施されるよう帯広市介護支援専門員連絡協議会等のネットワークを活用します。

4 地域ケア会議

地域包括ケアの推進を図るため、個別の課題から地域課題を整理し、地域づくりや資源開発、

多職種間のネットワーク構築等を行うことで包括的支援事業を推進させるため、地域ケア会議を開催します。また、会議当日の実施に限らず、会議に至るまでのプロセスが重要となることから、会議の準備、振り返り等も含め、具体的には「地域ケア会議マニュアル」に沿って進め、実施の充実を図ります。

5 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

要支援認定者、事業対象者が介護予防・生活支援サービス事業等を利用する際に、介護予防ケアマネジメントを実施します。実施に当たり、利用者の生活上の困りごとに対して、できないことを補うだけでなく、利用者の自立支援に資するよう心身の機能改善に加え地域の中で生きがいや役割を持って生活できるよう支援します。また、地域の多様な社会資源の活用についてもケアプランに位置づけるとともに、高齢者の活動や社会参加が生活機能の向上につながることを啓発や、地域に多様な通いの場を増やしていくための支援など、介護予防の取り組みを支援します。

そのほか、介護予防に関する各種媒体を用いて高齢者がセルフケアできるように啓発を行うとともに、必要に応じ介護予防ケアマネジメント様式等を活用し、高齢者が自らの目標を意識し自発的に介護予防に取り組んでいけるよう、積極的にセルフマネジメントを推進します。

6 包括的支援事業の充実のための関連事業及び項目

前述の1から5の各業務は、以下の（1）から（4）の各事業との関連が強く、地域包括ケアの推進を図るため、地域包括支援センターの業務及び各事業間において有機的に連携し取り組みを進めます。

（1）認知症施策の推進に係る事業

認知症に関連する課題への対応が大変重要となることから、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進するという認知症施策推進大綱の考え方を踏まえ、認知症施策を展開します。

実施に当たっては、認知症の人やその家族の生活実態の把握、認知症の人の声を聴き地域住民や医療及び介護関係者等とネットワークを構築しながら地域の課題を把握に努めることを基本とします。具体的には、認知症地域支援推進員を中心に、関係機関や地域との連携強化と課題検討の場となる認知症ケアネットワーク会議への参加、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る認知症地域支援・ケア向上事業及び認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する認知症初期集中支援推進事業を行うとともに、認知症専門担当職員等地域包括支援センター全体で、以下の取り組みを実施します。

ア 正しい知識の普及啓発・予防対策の推進

本人や家族の視点を重視した認知症当事者や家族による発信等も含め、認知症に対する理解を深めるための普及啓発を行います。特に、企業での若い世代や働き盛り世代への啓

発、学校での認知症サポーター養成講座等に重点的に取り組むとともに、高齢者に対しては、認知症の予防に資する可能性のある活動を推進します。

イ 相談・支援体制の充実

認知症の人を介護する家族が交流できる場に対する協力のほか、認知症の人やその家族の相談支援を行いながら、認知症の人を支えるつながりを支援し家族の介護負担の軽減を図ります。また、認知症の人同士の交流や活動支援等当事者の生きがいがづくり、関係機関や住民組織等に対し認知症施策に係る事業等への積極的な参加及び協力の促し、認知症初期集中支援推進事業の実施など、地域における支援体制の充実を図ります。

ウ 地域の見守り体制の構築

行方不明となった認知症高齢者等を支援するSOSネットワーク事業がより充実するよう周知や運用に協力するとともに、本人及びその家族に対し、必要な介護サービス等の利用につなげる等の支援を行います。また、認知症高齢者等搜索模擬訓練等の企画実施など、行方不明となっても早期に発見できる地域の見守り体制の構築に向け取り組みます。

そのほか、地域の認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジ）構築に向け、認知症サポーター養成講座、認知症支援スキルアップ研修等の受講者及び模擬訓練参加者など、認知症支援に関心や意欲のある人に対し、更なる学習や活動への支援を行い、認知症の人や家族を支援する人材の発掘を行います。

エ 医療と介護の連携強化

受診時連携シートや認知症ガイドブック（ケアパス）の活用、認知症疾患医療センターをはじめとした医療機関とのネットワークの構築を行います。また、会議等を活用した介護関係者との連携や、事例検討や学習会等を活用し多職種連携の重要性を共有するなど、医療と介護の関係者が相互の役割や機能を理解し連携強化を図る取り組みを行います。

（２）生活支援体制整備事業

総合相談支援業務における実態把握や地域ケア会議で抽出された課題に対し、対応策の検討や解決に向けた取り組みを進めるため、生活支援体制整備事業と連携します。具体的には、地域ケア会議への地域支え合い推進員の参加、生活支援・介護予防ネットワーク会議及び協議体への参加のほか、地域における課題や現在ある社会資源等の情報共有及び互助の創出やマッチングへの協力などを行います。特に、地域ケア会議により話し合われた課題のうち地域の取り組みにより解決を図るものについては、協議体につなげるなど、第１層生活支援コーディネーターや地域支え合い推進員と連携を図りながら、生活支援に関する地域課題の解決に向け必要な体制の整備を行います。

（３）医療と介護の連携に係る事業

総合相談支援業務における実態把握や地域ケア会議で抽出された課題に対し、対応策の検討や解決に向けた取り組みを進めるため、在宅医療・介護連携推進事業と連携します。具体的には、医療と介護の連携に関する相談・連携事例を報告するほか、在宅医療・介護ネット

ワーク会議及び医療・介護サービスを一体的に提供するための相談窓口における連携支援機関会議をはじめとした連携に関する協議の場に参加し、医療と介護の連携に関する課題について検討します。地域包括支援センター業務実施における情報を共有、検討します。また、包括的・継続的ケアマネジメント支援として介護支援専門員からの医療機関との連携に関する相談対応等の支援を行うとともに、多職種連携を拡大するための取り扱いルールの作成や事例整理などについて横断的な視点から帯広市とともに協議・検討を行い、また、地域の多職種と合同の事例検討会等への参加、在宅医療や看取り等についての住民への普及啓発、その他市が実施主体の取り組みに関して適宜協力し、医療と介護の連携を推進します。

(4) その他の事業

ア 家族介護者支援事業

要介護者を介護する家族に対する相談支援において、市が実施している家族介護用品支給事業等の福祉サービスの紹介や、仕事と介護の両立を支援するための各種制度について情報提供するなど、介護者の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図ります。

相談支援の中で、介護と同時に子育て・障害のある家族への支援等（ダブルケア）や高齢者を支援する児童（ヤングケアラー）を含む介護者を把握した場合には、必要な支援につながるよう関係機関等様々なネットワークを通じ連携を図ります。

また、介護者相互の情報交換やリフレッシュ等のための交流会等の開催を通じたピアサポートの充実や相談対応など、家族介護者支援を行います。

イ 高齢者の見守り支援

ひとり暮らし高齢者相談員を中心に、安否確認等の訪問支援や食の自立支援事業等を通じ、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。また、介護支援専門員と連携し、ねたきり認知症高齢者への関わりを通じ、在宅での生活が継続するよう支援します。具体的には、「高齢者の訪問登録活動の手引き」に従って実施します。

加えて、帯広市きづきネットワークの周知・啓発を行うとともに、民生委員等の協力団体、電気・ガス事業所等の協力事業所などからの相談・通報時には、帯広市と連携し対応します。